

FUND REVIEW REPORT

ファンド・レビュー・レポート 2026

評価基準日：2026年3月末

Message

CEOメッセージ

「お客様本位の業務運営」のために

野村アセットマネジメントは、「最高の付加価値の創造」、「高度な専門性の追求」、「信頼の獲得と社会への貢献」の企業理念のもと、常にお客様に最高のご満足をいただき、深く信頼される日本にルーツを持つグローバル資産運用会社をめざしています。

資産運用立国実現プランを背景に、実現に向けた具体的な取り組みが進展する中、資産運用業界では「お客様本位の業務運営」の重要性が一層高まっています。プロダクトガバナンスは、お客様の最善の利益に適うファンドを提供するために欠かせない取り組みです。当社はこれまで、業界に先駆けてプロダクトガバナンスの高度化と全社的な推進に取り組み、業界をけん引する姿勢で実践してまいりました。

これまで培ってきた取り組みを土台に、商品のライフサイクルを通じて、よりお客様の視点に立って商品・サービスのあり方を磨き上げ、プロダクトガバナンスの実効性を一段と高めてまいります。

2025年12月、当社の運用資産残高は100兆円を超えました。多くのお客様からのご信頼とご支持に、心より感謝申し上げます。今後もそのご期待にお応えできるよう、プロダクトガバナンスに絶え間なく取り組み、お客様本位の業務運営を一層推進するとともに、野村グループのパーパス「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」を軸に、挑戦を重ねてまいります。



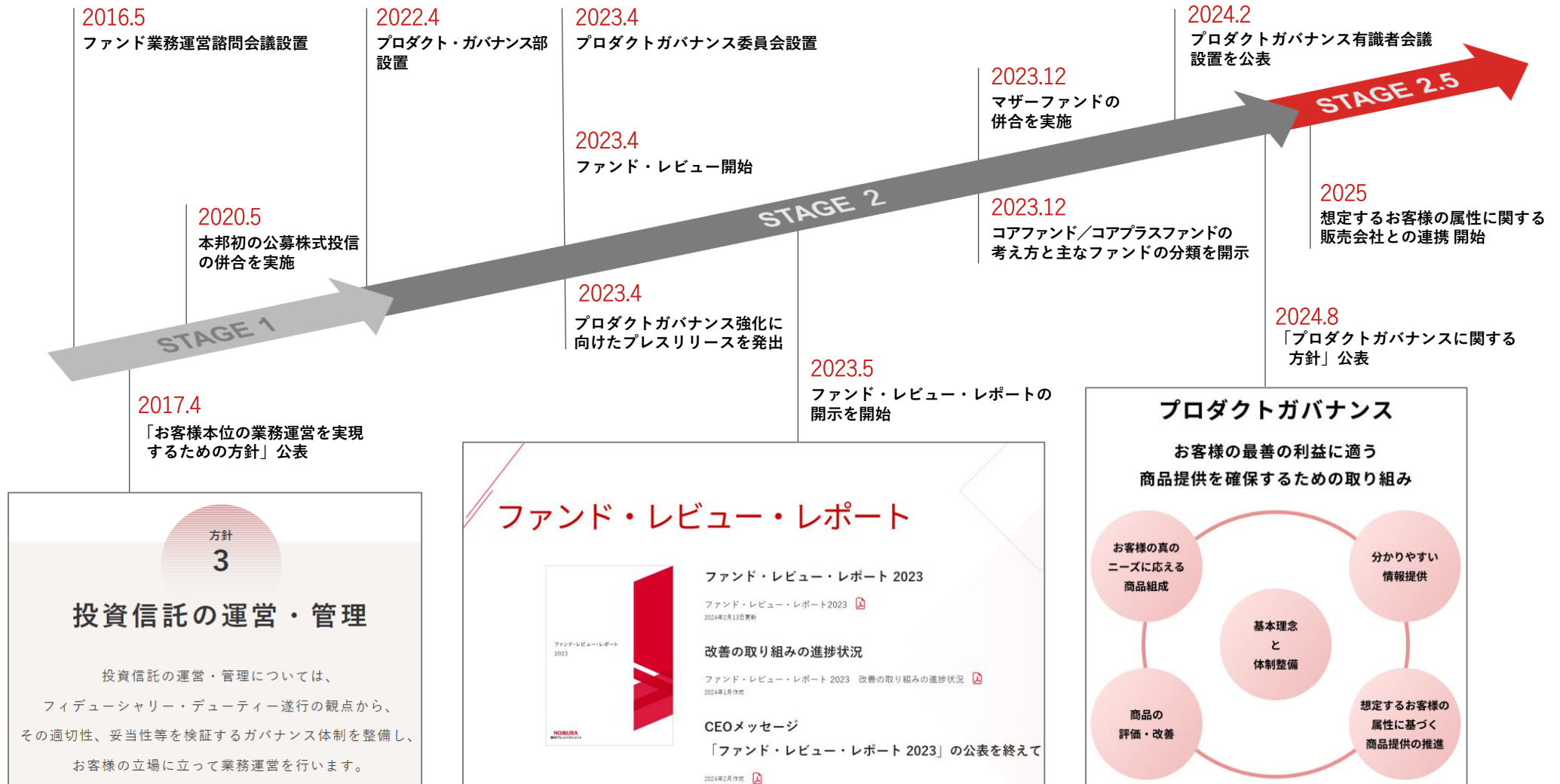
2026年8月
CEO兼代表取締役社長
大越 昇一

Contents

目次

プロダクトガバナンスの枠組み	<u>P. 3</u>
ファンド・レビューの評価サマリー	<u>P. 9</u>
ファンド・レビューにおける「要改善」ファンド	
野村日本最高益更新企業ファンド	<u>P. 10</u>
野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	<u>P. 13</u>
ノムラ THE NIPPON	<u>P. 17</u>
野村グローバル・アセット・モデル・ファンド（野村SMA・EW向け）	<u>P. 21</u>
Appendix：評価一覧	<u>P. 23</u>

プロダクトガバナンス強化に向けた歩み



プロダクトガバナンス方針

方針1

基本理念

当社は、お客様のニーズに対応した商品、最良のパフォーマンスとサービスを提供することこそ、資産運用ビジネスの本質であり、私たちの使命であると考え、その旨を企業理念中においても謳っています。

かかる理念に則り、お客様の最善の利益を実現するため、お客様の真のニーズに応える商品づくりを行い、個々の商品のライフサイクルの中で絶えずその品質向上を推進し、お客様ひとりひとりにふさわしい商品を提供するべく、お客様の最善の利益に合う商品提供を確保するための取り組み（プロダクトガバナンス）を徹底してまいります。

また、資産運用ビジネスにおけるプロダクトガバナンスを深化させることにより、投資の好循環を促し、より多くのお客様の健全な資産形成に貢献してまいります。

方針2

プロダクトガバナンス体制

当社は、プロダクトガバナンスの実効性を確保するための体制を整備します。

- お客様に適切に商品提供を行うために経営会議の下に商品委員会を設け、投資信託、投資一任及び投資顧問サービス等の金融商品の設定時における検討、商品の品質向上に向けた検討、適切な商品ラインアップの構築及び維持など、広く商品戦略に関わる事項について意思決定を行います。
- また、商品委員会を経て組成された金融商品については、プロダクトガバナンスを専門に担う部署が事務局となるプロダクトガバナンス委員会を設け、運用パフォーマンスを含むお客様が享受する価値に基づく分析、評価及び管理を通じて統制強化を図ります。
- さらに、投資信託の運営・管理に係る利益相反の管理については、独立の立場にある者が過半数を占めるファンド業務運営諮問会議を監査等委員会の下に設け、フィデューシャリー・デューティー遂行の観点から検証を行うことにより、お客様の利益が不当に損なわれることを防止します。
- 加えて、プロダクトガバナンスに係る取組みの公正性、透明性を確保し、より実効的なものにするを目的として社外の有識者で構成されるプロダクトガバナンス有識者会議を設置し、そこで得られた助言、講評を踏まえて取組みの更なる高度化を図ります。

方針3

金融商品の組成

当社は、金融商品の組成にあたり、あらかじめ想定するお客様の属性を明確にするとともに、当該お客様の真のニーズを想定した上で、組成する金融商品の商品性がそれに合致することを、商品の持続可能性や合理性等と併せて商品委員会において確認します。

金融商品の組成時の評価、検証の着眼点

- 中長期的に提供可能な金融商品であるか
- お客様の利益が十分に確保される期待収益と信託報酬水準の関係にあるか
- パフォーマンスを長期にわたり継続的に創出できる運用体制であるか

方針4

金融商品の評価・改善等

当社は、組成後の金融商品について、お客様目線を採り入れた検証、評価を行います。評価結果に基づき、更なる品質の向上やプロセス等の改善を促します。それらの結果も踏まえ、期待する役割や目的の実現が困難と判断した金融商品については、報酬の見直しや償還、併合等を進めます。

金融商品の組成後の評価、検証の着眼点

- コスト控除後リターンの達成度とリスク水準の妥当性
- 提供するサービス（DC、NISAなど）に適した投資期間、資産規模であるか
- お客様が期待する商品性と提供した運用内容（プロセス）が整合的であるか

方針5

想定するお客様の属性に関する販売会社との連携

当社は、組成する金融商品ごとに想定するお客様の属性を販売会社に伝達することにより、金融商品の想定するお客様への提供を推進します。さらに、特定のニーズがあるお客様向けの商品については、理解を促進するための施策を講じるほか、特定のお客様向けの商品については、販売会社との間で販売に関する情報（個人情報を除きます）の連携に努めます。受け取った情報は、より良い金融商品をお客様に提供するために活用します。

方針6

分かりやすい情報提供

当社は、お客様に十分な情報をもとにより良い金融商品を選択いただけるようにするために、ホームページにおいてグローバルな運用体制や組成する商品ごとに想定するお客様の属性を分かりやすさに配慮して開示します。

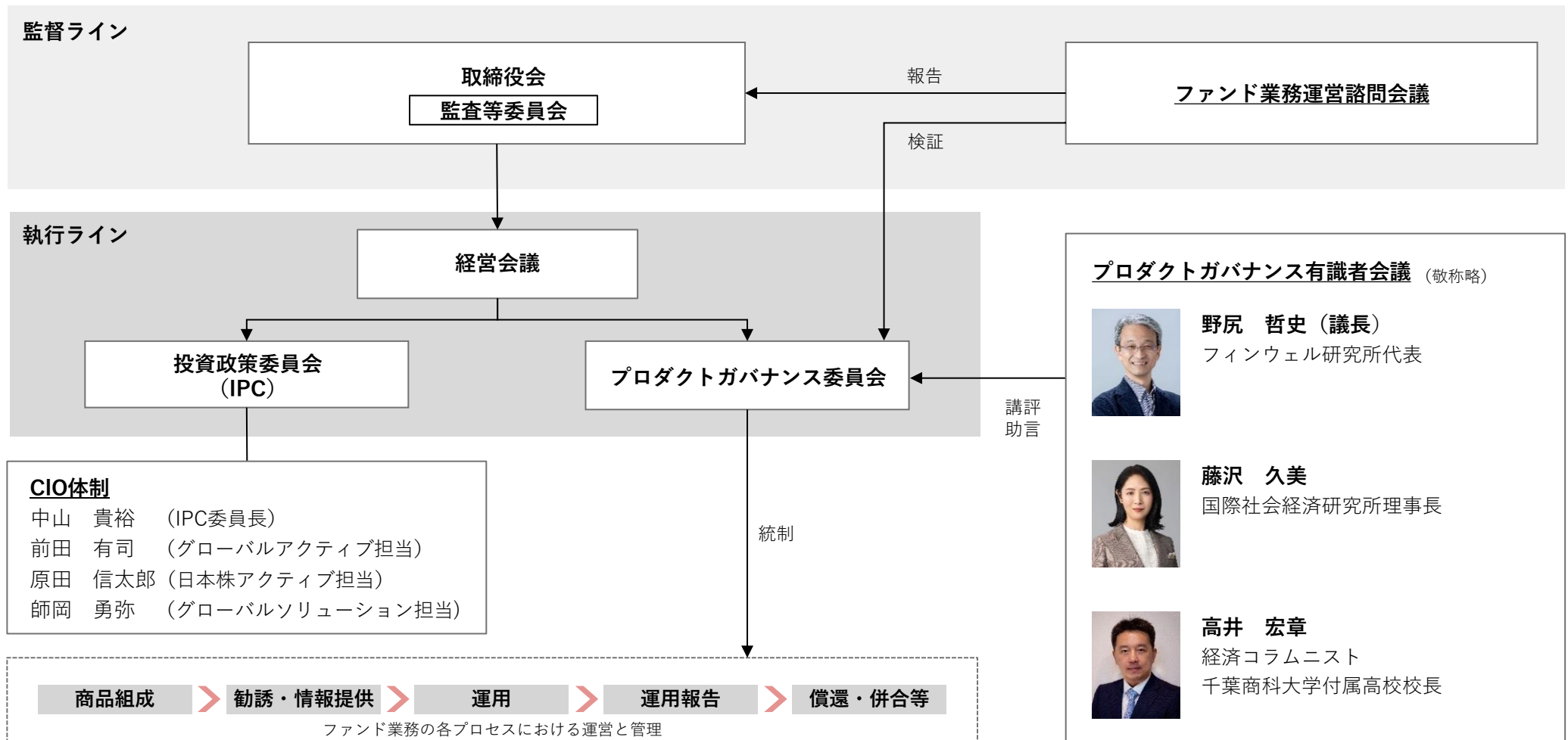
また、ファンド・レビューの結果やそれを受けた改善状況をまとめたレポート、プロダクトガバナンスを実施する体制やプロダクトガバナンス有識者会議で得られた助言の主な内容を公表することにより、プロダクトガバナンスに係る取組みの一層の透明性の向上を図ります。

プロダクトガバナンス体制

当社では、プロダクトガバナンスに関する体制を整備し、プロダクトの品質の維持・向上を図ってまいりました。プロダクトの組成から、勧誘、運用管理、開示、償還に至るまでの統合したガバナンスを担う「プロダクトガバナンス委員会」の設置や、プロダクトガバナンスに係る取り組みの公正性、透明性を確保し、より実効的なものにするを目的として、社外の独立した有識者で構成される「プロダクトガバナンス有識者会議」を設置しています。当会議メンバーの中立的立場からの講評・助言を活かし、「お客様本位の業務運営」の更なる推進を目指しています。

ファンド業務運営諮問会議

ファンド・レビュー評価はファンド業務運営諮問会議に報告されるなど、ファンド・レビューと改善活動については、現場の取り組みだけではなく、社外取締役や経営陣が関与することによって、実効性を高める体制を取っています。

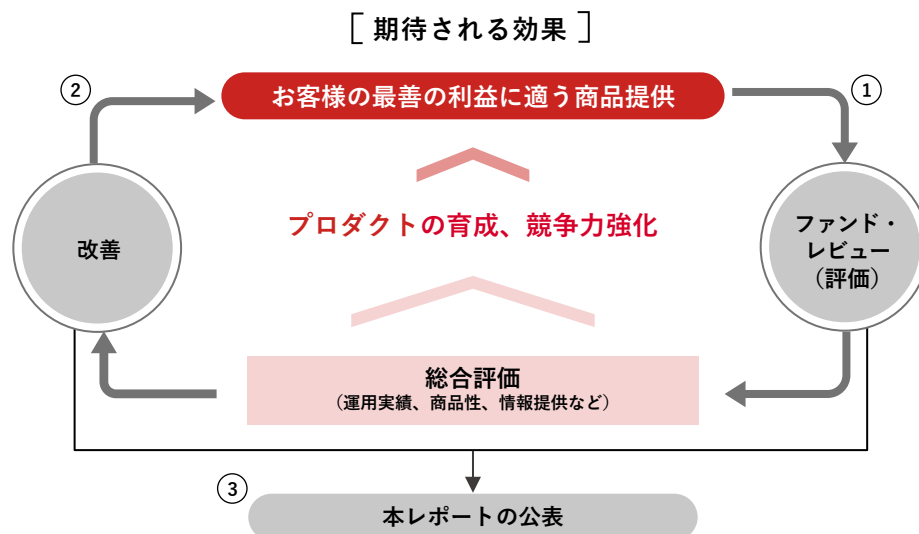


ファンド・レビューの目的と考え方

ファンド・レビューの目的は、**お客様の最善の利益に適う商品提供を実現すること**です。

ファンド・レビューを起点として、以下の一連の取り組みを繰り返していくことにより、ファンドの品質改善を図り、お客様の最善の利益に適う商品を提供します。

- ① お客様の利益の観点からファンド・レビューを行います。
- ② ファンド・レビュー結果に基づき、お客様の最善の利益に適う商品提供に向けた改善に取り組みます。
- ③ ファンド・レビューの結果およびファンドの改善活動を公表することを通じて、透明性の向上と当社の取り組みに対する牽制効果によって、実効性の確保を図ります。



基本的な考え方

- 「お客様の最善の利益に適う商品提供」およびそのための「プロダクトの育成、競争力強化」を目的として、お客様目線を取り入れた評価を行います。
- ファンド・レビューはお客様が投資を検討するときから、投資期間中、売却・償還するまで当社が提供する一連のサービスを対象とします。
- 「運用実績」、「商品性」、「情報提供」の**3つの観点を中心に総合的に評価します。**



運用実績

信託報酬等のコストを控除したパフォーマンスが、競争力のある水準となっているか。



商品性

長期的な資産形成に資するか。期待収益および運用実績に合った適正な信託報酬水準か。お客様のニーズに適合しているか。



情報提供

投資判断や運用状況の把握に資する適切な情報を提供できているか。分かりやすさに配慮できているか。

- 評価の結果、改善すべき課題が認められたファンドは、本レポートで対応方針および改善に向けた取り組み内容を開示し、改善を進めるとともに、その進捗状況をお客様に開示いたします。

本レポートは当社ファンドの受益者であるお客様も含む当社のすべてのステークホルダーに向けて公表しています。内容等についてご不明な点があれば下記の照会先までお問い合わせください。

＜照会先＞野村アセットマネジメント株式会社

☎ サポートダイヤル 0120-753104 〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ファンド・レビューの評価方法

これまでのファンド・レビューでは「運用実績」「商品性」「情報提供」の評価項目ごとに、Red（赤）、Yellow（黄）、Green（緑）の評価を付与していましたが、2026年は評価対象となるファンドについて、改善すべき課題の有無を総合的に評価する方法に変更しています。

改善すべき課題に対しては、ファンドの約款や目論見書に記載される運用プロセスに対する改善活動だけでなく、商品性の見直しやお客様への開示資料等の適正化に加え、ファンドの存続可否に関わる抜本的な対応を検討する可能性があります。こうした課題があるファンドには「要改善」の評価を付します。

「**運用実績**」では、これまでと同様に信託報酬等のコストを控除したパフォーマンスの競合比※を用いて対象ファンドを評価します。2026年はこの評価に加えて、ベンチマークや参考指数などと比べて継続的にパフォーマンスが下回っていないかといった観点も勘案し、運用実績を確認します。

※ 競合比については、外部評価機関が商品分類ごとに付与する競合比較による評価（Morningstar Ratings および Fundmark レーティング）を参考にして上位 / 中位 / 下位に分類し、さらに下位の中でも競合比で特に劣位のものについては下位（劣後）と分類します。

「**商品性**」では、これまで行っていた同カテゴリー内での経費率の比較に加え、すべてのファンドを特定の指標により一律に評価するのではなく、約款や目論見書等に記載されるファンドの特性を踏まえた「運用実績」の状況、リスクの取得状況や信託報酬水準とのバランスなどを勘案し、課題の有無を確認します。

「**情報提供**」では、お客様が商品を検討する際に必要な情報、信託期間中のパフォーマンスや運用戦略に関する開示情報について、その内容がお客様に十分かつ理解しやすいものとなっているかという観点から確認します。併せて、「要改善」の評価が付されたファンドの改善すべき課題や改善状況が適切に開示されているかについても確認します。

総合評価は主として上記の観点から行いますが、これらの観点に限定することなく総合的に評価を実施します。

なお、ファンド・レビュー・レポートでは、これまでの「改善が必要な運用戦略／ファンド」について要点を記載する構成から、「要改善」という評価に至った背景や課題認識などを、グラフやデータ等も加えて詳細に説明する構成に変更しました。

ファンド・レビューに基づく改善活動

ファンド・レビューによって、「要改善」と評価された運用戦略／ファンドについては、管理部署が中心となって課題を特定し、運用部署、マーケティング部署など関係部署が連携して改善策を策定し、これを実行します。

これら一連のプロセスは、プロダクトガバナンス委員会に適宜報告され、経営陣の監督の下で遂行されます。

改善の取り組みの開示

「要改善」と評価された運用戦略／ファンドについては、原則として、商品性を踏まえた運用状況や課題の説明、さらに改善に向けた対応策をファンド・レビュー・レポートで開示します。また、その改善取り組みの進捗状況を次のレポートで開示します。

改善状況については、管理部署が実施状況をモニタリングし、経営陣が出席するプロダクトガバナンス委員会で適宜報告します。

ファンド・レビュー評価 「要改善」

- 管理部署によって評価

課題の特定と改善策の策定

- 業務の担当部署だけではなく、管理部署も関与

改善策の決定

- 経営陣による改善策の審議、決定

改善策の実行とモニタリング

- 業務担当部署による改善策の実行
- 管理部署によるモニタリング
- 経営陣に報告

改善の取り組みの開示

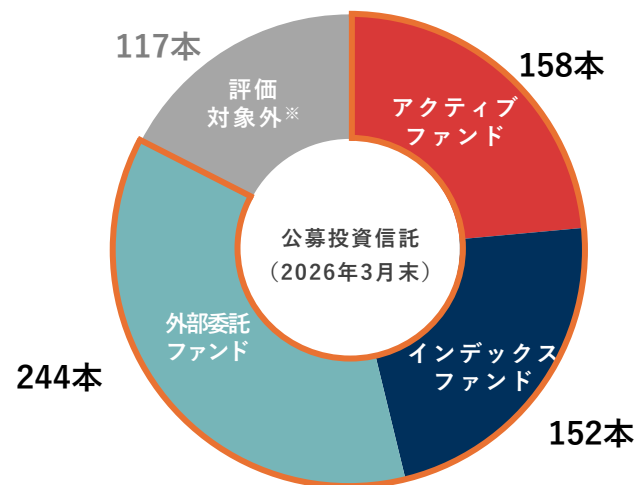
- 次のファンド・レビュー・レポートで改善状況を開示

ファンド・レビューの評価サマリー

評価対象

「アクティブファンド」、「インデックスファンド」、「外部委託ファンド」という3つに分類し、2026年3月末時点の当社の公募投資信託を対象として、評価・開示を行います※。ファンド・レビューの評価対象となったファンドは554本（246戦略）となり、内訳は以下の通りです。

「要改善」と評価されたファンドについては、課題とその対応について次頁以降でご説明します。



※ 上場投資信託（ETF）、MRF、マネープール型ファンド、運用開始から1年未満のファンド、2026年度内に償還する予定のファンドやファンドラップ専用ファンドを評価対象外とします。なお、ファンドラップについては、サービス全体のガバナンスの枠組みを考慮する必要があるため、複数ファンドを組合せて付加価値を提供することを意図して組成されているため評価対象外とします。

「要改善」と評価された運用戦略／ファンド

No	運用戦略／ファンド	課題と対応	掲載頁
1	野村日本最高益更新企業ファンド	- これまでの改善策によって、1年の運用成果にプラスに影響しました。 - 最高益更新企業群のリターンは低迷しており、中長期での価値提供ができるかという観点から対応を検討してまいります。	P.10
2	野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	- 投資国が分散されていなかったことや総経費率が相対的に高かったことを背景に運用パフォーマンスが低迷しました。 - リスク分散の観点も踏まえ、投資対象国の分散の余地を検討してまいります。 - また、資金動向も踏まえ、更なる対応策の検討も継続してまいります。	P.13
3	ノムラ THE NIPPON	- 中小型成長株への投資が逆風でした。 - ファンドの入れ替えを通じて投資スタイルの偏りを抑制し、超過収益の改善を目指します。 - 純資産残高にも注視してまいります。	P.17
4	野村グローバル・アセット・モデル・ファンド (野村SMA・EW向け)	- 主に通貨戦略でパフォーマンスが悪化しました。 - 当社主導で外部モデルの改善を実施することが難しくなっており、さらなる対応を検討してまいります。	P.21

野村日本最高益更新企業ファンド（1／3）

（評価基準日：2026年3月末）

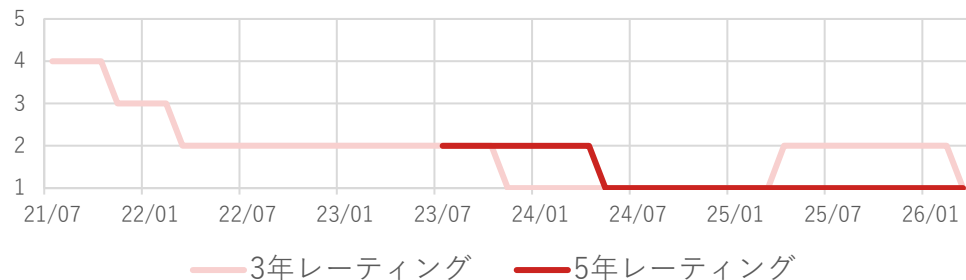
No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 （億円）	競合比			当社HP
					3年 下位 （劣後）	5年 下位 （劣後）	10年 —	
1	野村日本最高益更新企業ファンド	2018年 7月24日	2028年 7月27日	74				

総合評価

- 直近1年の運用パフォーマンスは改善が見られておりますが、**中長期にわたり十分な付加価値をお客様に提供できていないため、「要改善」と評価**しました。
- 2026年3月末時点のパフォーマンス実績において、期間3年、5年での競合比で下位（劣後）となりました。

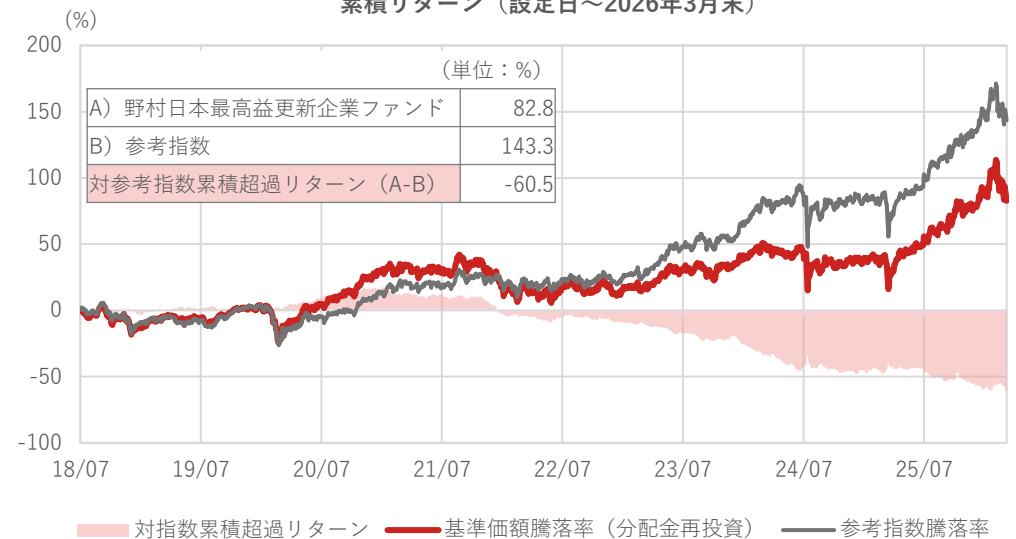
- 設定から2026年3月末までの基準価額騰落率（分配金再投資）は+82.8%となりましたが、参考指数（TOPIX（東証株価指数）（配当込み））に対する超過リターンは-60.5%となり、日本株市場全体の上昇に対しては劣後しています。

外部評価機関（Fundmark）レーティングの推移
（2021年7月末～2026年3月末）



出所：Fundmarkレーティングを用いて野村アセットマネジメント作成

累積リターン（設定日～2026年3月末）



出所：野村アセットマネジメント作成

野村日本最高益更新企業ファンド（2／3）

（評価基準日：2026年3月末）

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 （億円）	競合比			当社HP
					3年 下位 （劣後）	5年 下位 （劣後）	10年 —	
1	野村日本最高益更新企業ファンド	2018年 7月24日	2028年 7月27日	74			—	

課題認識

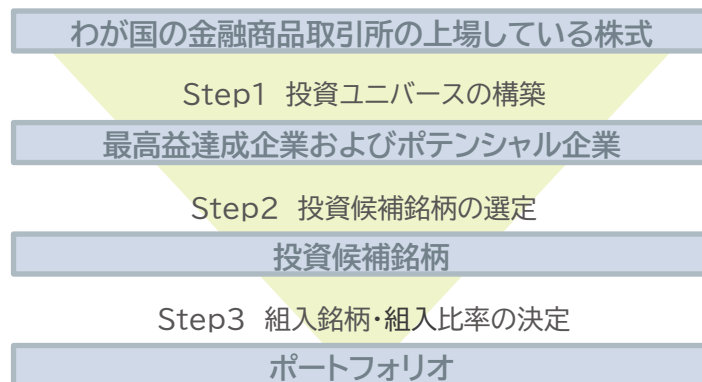
【商品特性】

- 当ファンドは最高益を更新してきた銘柄「最高益達成企業※1」および最高益を更新していくことが期待される銘柄「ポテンシャル企業※2」を対象として、業績動向等の分析に加え、競争力の持続性および経営方針等の定性評価を行ない選定した投資候補銘柄の中で組入銘柄・組入比率を決定するアクティブ運用ファンドです。

※1 過去10事業年度において5事業年度以上で経常利益が最高益を更新した銘柄

※2 今後の決算において経常利益が最高益を更新し、「最高益達成企業」となることが期待できる銘柄

- 投資候補銘柄の特性として低ベータ（株式市場全体の値動きに対する感応度が低い）、安定成長といった傾向が見られます。



※詳細な運用プロセスは、当社ホームページの目論見書をご確認ください。

【最高益達成企業の株価のパフォーマンス】

- 当ファンドの主要な投資対象である「最高益達成企業」の株価のパフォーマンス※3は、2021年以降、参考指数であるTOPIX（東証株価指数）（配当込み）を下回る傾向が強まりました。

※3 「最高益達成企業」銘柄群の株価のパフォーマンスを単純平均したもの



出所：野村アセットマネジメント作成

野村日本最高益更新企業ファンド（3／3）

（評価基準日：2026年3月末）

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 （億円）	競合比			当社HP
					3年 下位 （劣後）	5年 下位 （劣後）	10年 —	
1	野村日本最高益更新企業ファンド	2018年 7月24日	2028年 7月27日	74				

課題認識（つづき）

【相場のスタイル変化】

- 2020年頃までは低金利環境が続き、将来の成長期待が大きいグロース株が買われやすい相場でした。
- 2021年以降は、コロナ禍からの景気回復に加え、物価上昇に伴う金利上昇を背景に、企業の業績や将来の成長力等から相対的に割安と判断されるバリュー株がグロース株より相対的に強い傾向が見られ、当ファンドに逆風の環境となり、競合ファンドに対してパフォーマンスが劣後する主要因となりました。

グロース株とバリュー株の相対的な推移※1
（2018年7月～2026年3月末）



※1 グロース株はRussell/Nomura Total Market Growthインデックス（配当込み）、バリュー株はRussell/Nomura Total Market Value インデックス（配当込み）を使用。グロース株が優位な局面ではグラフは上昇し、バリュー株が優位な局面ではグラフは下落します。

※2 設定日の前営業日のグロース株／バリュー株を100として指数化。

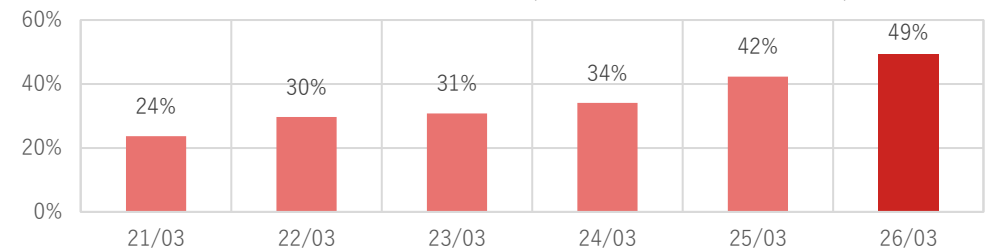
出所：野村アセットマネジメント作成

ファンドの投資リスク、費用等については、上記のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

改善に向けた取り組み

- パフォーマンス改善策として、銘柄選定における今後「最高益達成企業」となることが期待できる「ポテンシャル企業」の組み入れを増やし、投資機会を広げ、直近1年の運用パフォーマンスでは改善が見られています。

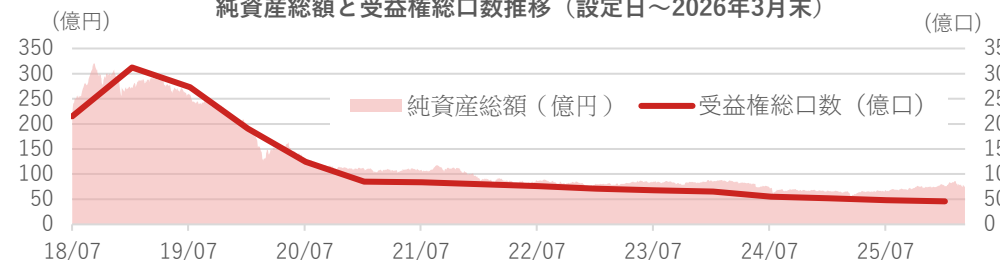
ポテンシャル企業の配分比率（2021年3月末～2026年3月末）



出所：野村アセットマネジメント作成

- 2026年3月末時点の当ファンドの純資産は74億円、当ファンドの受益権総口数については、設定直後の2019年初をピークに右肩下がりとなっており、解約傾向が続いています。今後の運用実績を注視しつつ、戦略の有効性や資金動向も踏まえ、更なる対応策の検討も継続してまいります。

純資産総額と受益権総口数推移（設定日～2026年3月末）



出所：野村アセットマネジメント作成

野村先進国ヘッジ付き債券ファンド（1／4）

（評価基準日：2026年3月末）

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 (億円)	競合比			当社HP
					3年 下位 (劣後)	5年 下位	10年 下位	
2	野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	2010年11月10日	無期限	32				

総合評価

- 日本国債に集中していたことや総経費率が高かったこと等を背景に、**運用パフォーマンスが競合比で中長期にわたり低迷していました。お客様に十分な付加価値を提供できていないため、「要改善」と評価しました。**
- 2026年3月末時点における期間3年の競合比は、前回評価時（2025年3月末）と比べて更なる悪化が見られました。

【外部レーティング】

（評価基準日：2025年3月末）

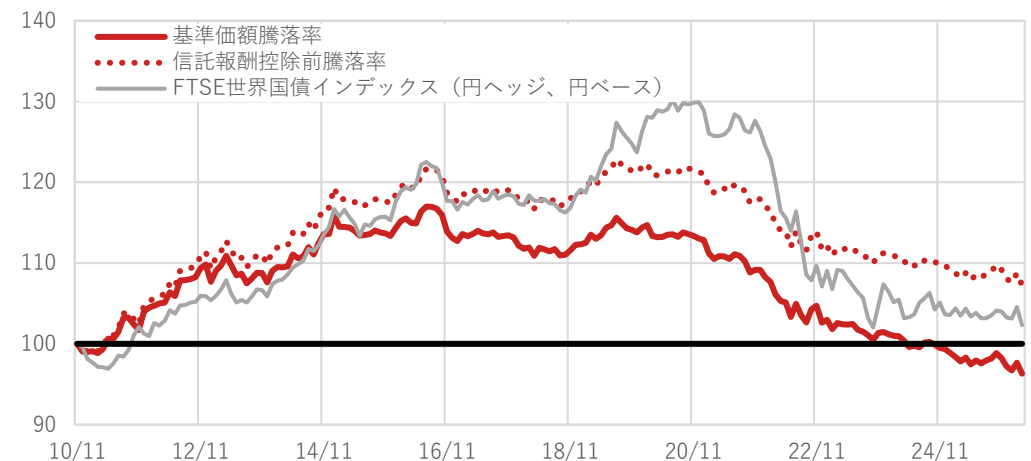
評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★★	★★★	★★★	★★★
	Japan Fund World Bond - JPY Hedged			
Fundmark	☆☆	☆	☆	
	海外債券/グローバル/日本含む/フルヘッジ			

（評価基準日：2026年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★★	★★★	★★★
	Japan Fund World Bond - JPY Hedged			
Fundmark	☆	☆	☆	
	海外債券/グローバル/日本含む/フルヘッジ			

- 設定から2026年3月末までの基準価額騰落率（分配金再投資）は-5.1%となりました。FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ、円ベース）対比の超過リターンは-6.2%であり、世界国債市場の価格変動を表す一般的な市場指数に対して劣後しています。
- 信託報酬控除前のパフォーマンス実績（設定～2026年3月）では、市場指数を上回りましたが、信託報酬控除後では十分な付加価値を提供することはできませんでした。

パフォーマンスの推移（設定月=100として指数化）
（2010年11月末～2026年3月末）



出所：野村アセットマネジメント作成

野村先進国ヘッジ付き債券ファンド（2／4）

（評価基準日：2026年3月末）

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 (億円)	競合比			当社HP
					3年 下位 (劣後)	5年 下位	10年 下位	
2	野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	2010年11月10日	無期限	32				

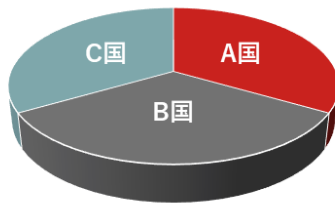
課題認識

【商品特性】

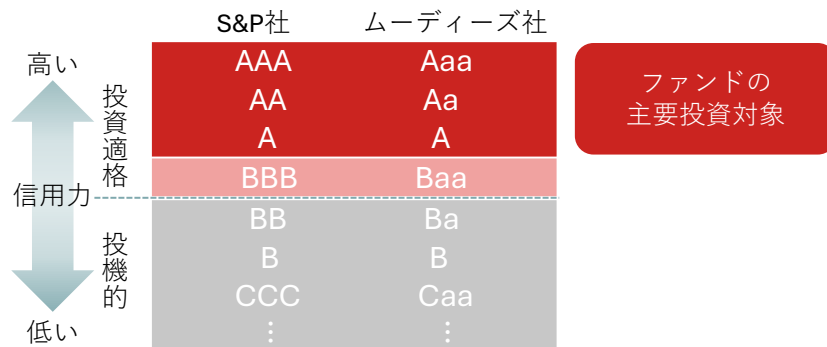
- 当ファンドでは、原則として3ヵ国の国債に、国別投資比率が概ね均等となるように投資を行うことを基本とします※1。

※1 投資環境等の要因により投資対象国が3ヵ国に満たない場合や、投資配分比率が概ね均等にならない場合があります。

ファンドの国別投資比率のイメージ



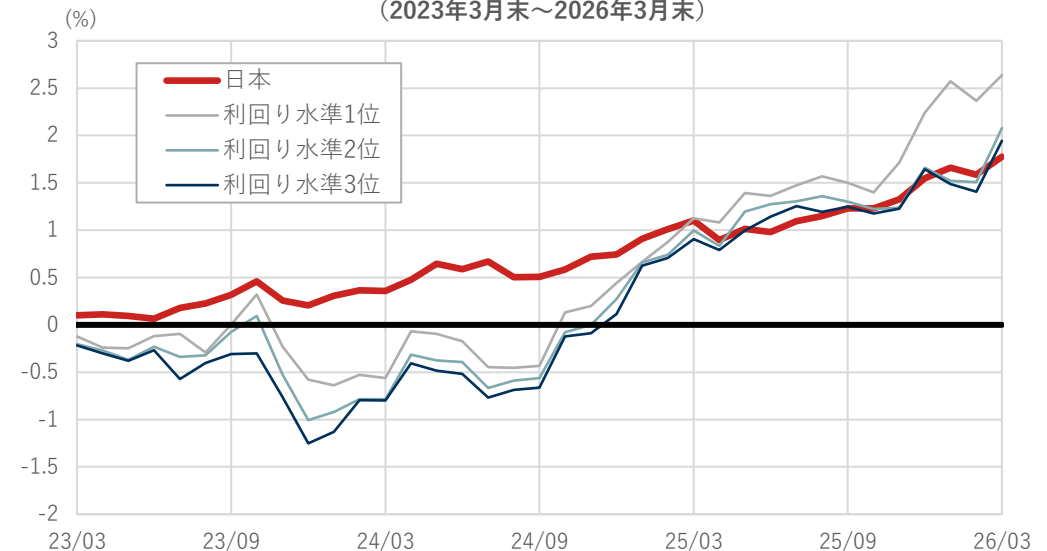
- 投資対象国は、日本を含む世界主要国のうち、主に信用力の高い国から、為替ヘッジコスト控除後の国債利回りが高い3ヵ国を選定してまいりました。



【為替ヘッジコスト控除後の国債利回りの低迷】

- 為替ヘッジコストが高水準であったため、海外の為替ヘッジコスト控除後の国債利回りは2023年から2024年後半頃までマイナスとなりました。
- 2025年以降も、為替ヘッジコスト控除後の国債利回りが日本国債の利回りを大きく超える国は少数となっていました。

投資対象における為替ヘッジコスト控除後利回り（上位3ヵ国※2＋日本）
（2023年3月末～2026年3月末）



※2 日本を除く投資対象国のうち、2023年3月末以降の各月末時点で、為替ヘッジコスト控除後の利回りが高い上位3ヵ国を指します。上位3ヵ国は特定の国ではなく月次で変動する場合があります。

野村先進国ヘッジ付き債券ファンド（3／4）

（評価基準日：2026年3月末）

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 （億円）	競合比			当社HP
					3年 下位 （劣後）	5年 下位	10年 下位	
2	野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	2010年11月10日	無期限	32				

課題認識（つづき）

【投資対象国の集中】

- 2023年から25年前半にかけて、為替ヘッジコスト控除後の国債利回りがマイナスとなる国が増加したことで、投資対象国が3ヵ国に満たず、日本国債中心に投資する状況が継続いたしました。
- 2025年中頃以降、為替ヘッジコスト控除後の国債利回りがプラスに転じた国が増えたものの、日本国債の利回りは相対的に上位にあったことから、入れ替えコストを踏まえ日本国債を中心とした投資を継続しました。

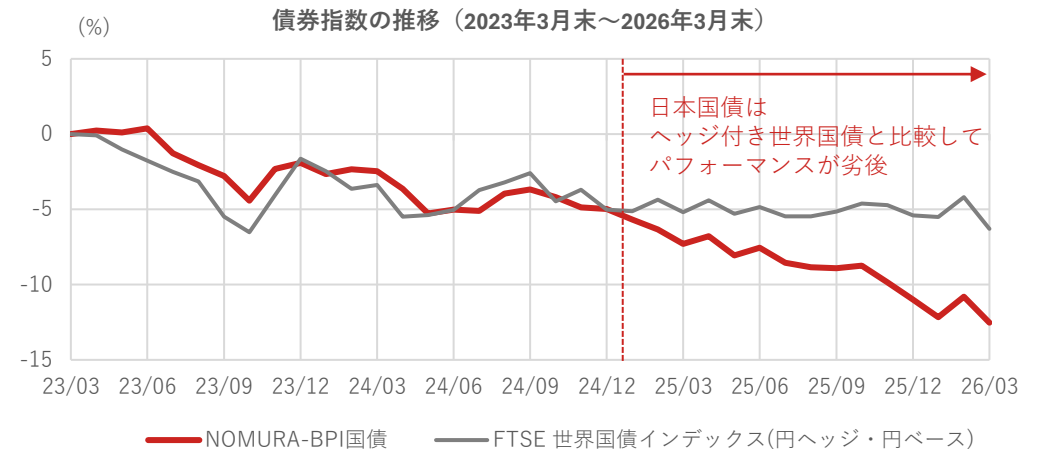
国別債券保有比率（2023年3月末～2026年3月末）



出所：野村アセットマネジメント作成

【日本国債のパフォーマンスの低迷】

- 2025年以降、日本国債の価格変動を表す代表的な指数であるNOMURA-BPI国債のパフォーマンスがFTSE世界国債インデックス（円ヘッジ、円ベース）を下回ったため、日本国債を中心に投資していた当ファンドのパフォーマンスは同インデックスに劣後しました。



出所：野村アセットマネジメント作成

野村先進国ヘッジ付き債券ファンド（4／4）

（評価基準日：2026年3月末）

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 （億円）	競合比			当社HP
					3年 下位 （劣後）	5年	10年	
2	野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	2010年11月10日	無期限	32	下位 （劣後）	下位	下位	

課題認識（つづき）

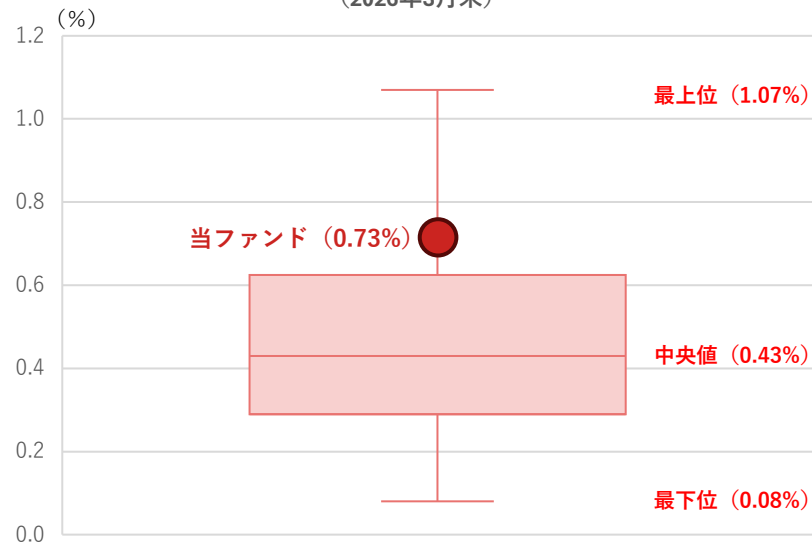
【相対的に高い経費率】

- 類似の商品特性を有するファンド※1の中では、当ファンドの総経費率（0.73%）は相対的に高い水準にあります。

※1 資産運用業協会による属性区分で以下に該当するファンドを指します。

- ・投資対象資産：「債券 公債」、「その他資産（債券 公債）」
- ・投資対象地域：「グローバル」
- ・為替ヘッジ：「あり（フルヘッジ）」、「あり（高位ヘッジ）」

類似の商品特性を有するファンド対比の総経費率※2
（2026年3月末）

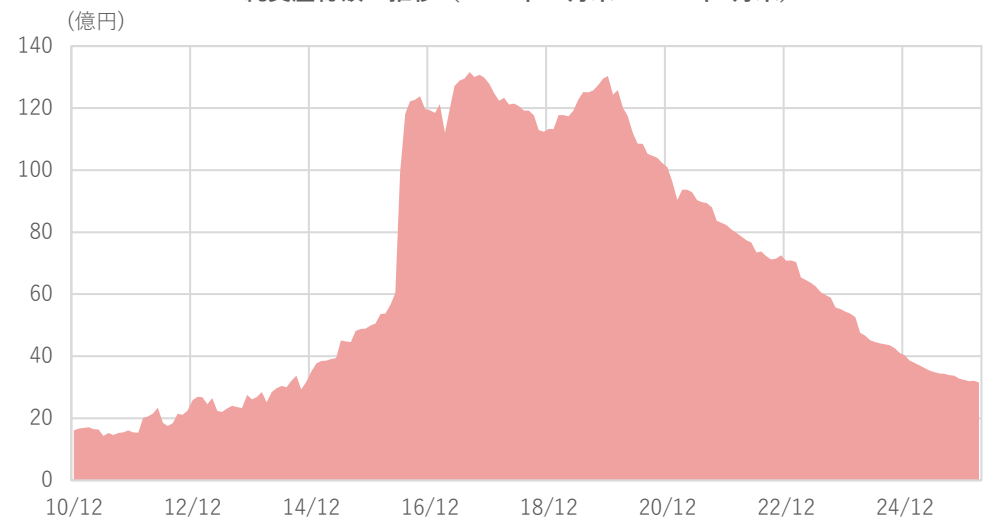


出所：野村アセットマネジメント作成

改善に向けた取り組み

- 当ファンドの商品性である高利回り国債への投資を通じた毎月分配の特性を維持しながらも、投資対象国のユニバースを広げて、リスク分散と運用の柔軟性の向上を検討してまいります。
- 当ファンドの純資産総額は、金利上昇に伴う債券価格の下落や解約の影響もあり2019年末の130億円をピークに減少傾向が続き、2026年3月末時点では32億円となりました。今後の資金動向や運用改善による信託報酬控除後の付加価値の提供状況を踏まえつつ、更なる改善策を検討してまいります。

純資産総額の推移（2010年12月末～2026年3月末）



出所：野村アセットマネジメント作成

※2 2026年3月末時点における、最新の開示情報に基づき作成

ファンドの投資リスク、費用等については、上記のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ノムラ THE NIPPON (1 / 4)

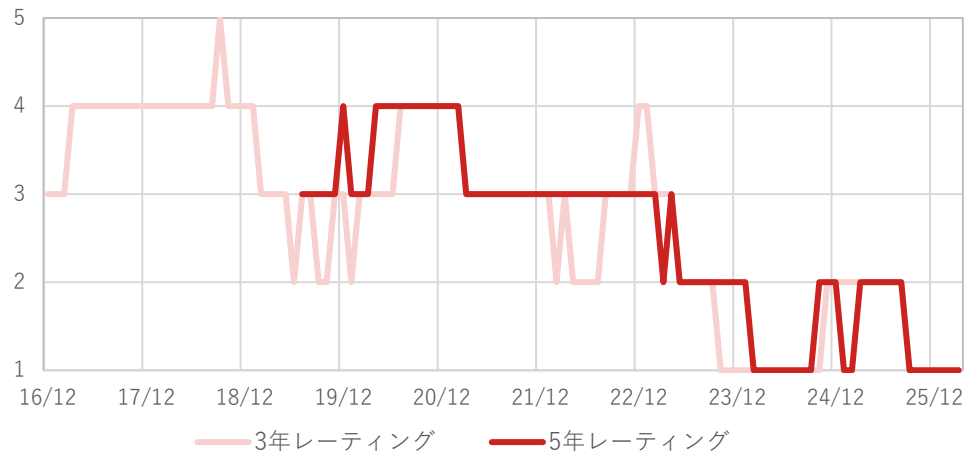
(評価基準日: 2026年3月末)

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 (億円)	競合比			当社HP
					3年 下位 (劣後)	5年 下位 (劣後)	10年 下位 (劣後)	
3	ノムラ THE NIPPON	2013年12月 9日	2027年12月13日	164				

総合評価

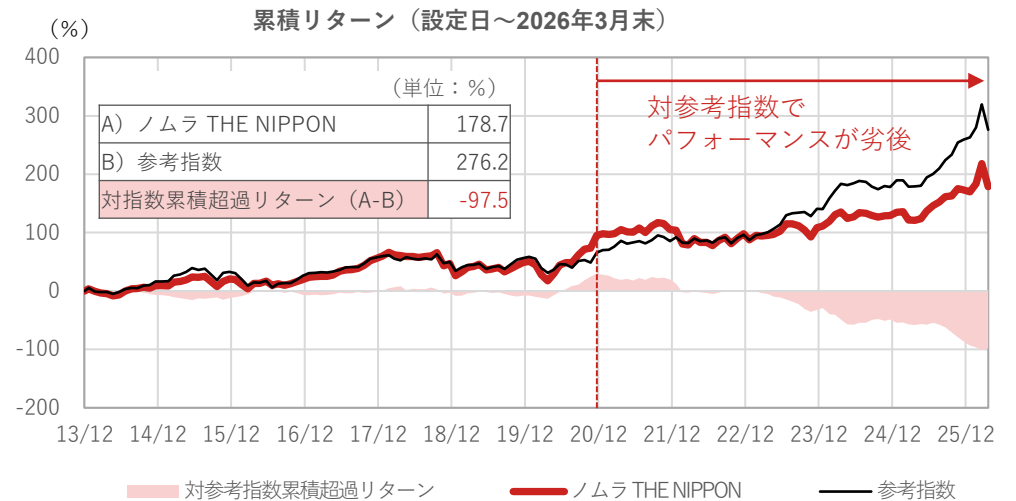
- 2025年以降、ファンド入れ替えにより投資スタイルの偏りを抑え、投資環境変化に対する対応力を高めました。このようにパフォーマンス改善の取り組みを進めていますが、**長期にわたり十分な付加価値をお客様に提供できていないため、「要改善」と評価しました。**
- 2026年3月末時点のパフォーマンス実績において、期間3年、5年、10年の競合比で下位（劣後）となり、参考指数（TOPIX（東証株価指数）（配当込み））に対する報酬控除後の超過収益が各期間でマイナスとなりました。

外部評価機関（Fundmark）のレーティング推移
(2016年12月～2026年3月末)



出所：Fundmarkレーティングを用いて野村アセットマネジメント作成

- 設定から2026年3月末までのファンドの基準価額騰落率（分配金再投資）は+178.7%となりました。参考指数に対する超過リターンは-97.5%となり、日本株市場全体の上昇に対しては劣後しています。



出所：野村アセットマネジメント作成

ノムラ THE NIPPON (2 / 4)

(評価基準日: 2026年3月末)

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 (億円)	競合比			当社HP
					3年 下位 (劣後)	5年 下位 (劣後)	10年 下位 (劣後)	
3	ノムラ THE NIPPON	2013年12月 9日	2027年12月13日	164				

課題認識

【商品特性】

- 当ファンドは、わが国の株式を投資対象とする複数の投資信託証券（ファンド）を主要投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。
- 投資する投資信託証券の選定、見直し、投資比率の決定にあたっては、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（NFRC）からの助言を受けます。
- 設定以来、中長期で高水準のパフォーマンスの実現を目指し、中小型銘柄や高い成長が期待されるグロース銘柄を主に組み入れるファンドを中心にポートフォリオを構成してきました。
- 2021年以降にバリュー株が相対的に優位となる市場環境が続いたことから、グロース寄りのスタイル特性が競合ファンドに対するパフォーマンス劣後の一因となりました。運用スタイルの調整余地を広げ、運用の柔軟性を高める観点から、2025年8月に「ノムラ・ジャパン・オープン マザーファンド（NJO）」を新たに組み入れました。
- 当ファンドにおいては、投資対象ファンドを追加する場合には一般的なファンド・オブ・ファンズと異なり、原則として新規ファンドの設定が必要となります。

【相場のスタイル変化】

- 2020年頃までは低金利環境が続き、将来の成長期待が大きいグロース株が買われやすい相場でした。その後は、コロナ禍からの景気回復に加え、物価上昇に伴う金利上昇を背景に、2021年以降は割安感のあるバリュー株が相対的に強い傾向が見られました。
- 2020年頃まではグロース株優位の市場環境であったものの、2021年以降バリュー株優位の傾向が強まり、これが競合ファンドに対してパフォーマンスが劣後する主な要因となりました。

グロース株とバリュー株の相対的な推移※1
(2013年12月～2026年3月末)



※1 グロース株はRussell/Nomura Total Market Growthインデックス（配当込み）、バリュー株はRussell/Nomura Total Market Value インデックス（配当込み）を使用。グロース株が優位な局面ではグラフは上昇し、バリュー株が優位な局面ではグラフは下落します。

※2 設定日の前営業日のグロース株/バリュー株を100として指数化。

出所：野村アセットマネジメント作成

ノムラ THE NIPPON (3 / 4)

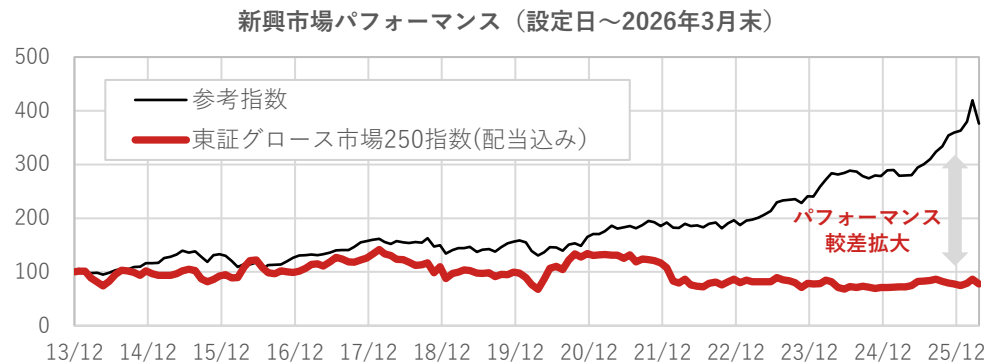
(評価基準日: 2026年3月末)

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 (億円)	競合比			当社HP
					3年 下位 (劣後)	5年 下位 (劣後)	10年 下位 (劣後)	
3	ノムラ THE NIPPON	2013年12月 9日	2027年12月13日	164				

課題認識 (つづき)

【新興市場の低迷】

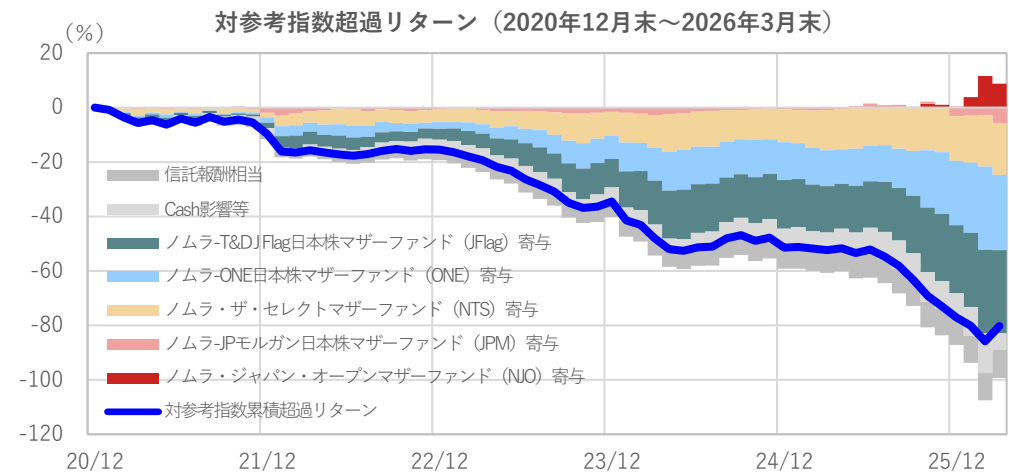
- 2023年以降は、高配当や株主還元銘柄などへの選好が強まった一方で、とりわけ、グロース株の中でもよりグロース性の高い企業で構成される**新興市場（東証グロース市場250指数）の低迷**が際立つ状況となりました。



※設定日の前営業日を100として指数化

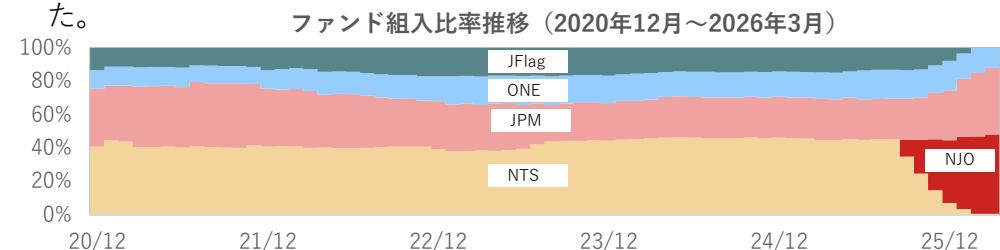
出所：野村アセットマネジメント作成

- バリュー株優位の環境となった2021年1月～2026年3月のファンドパフォーマンスは、対参考指数で超過リターンが-80.3%となりました。



出所：野村アセットマネジメント作成

- 中小型銘柄や新興市場のグロース銘柄を組み入れるファンドを中心にパフォーマンスが低迷し、超過リターンを大きく押し下げる要因となりました。



出所：野村アセットマネジメント作成

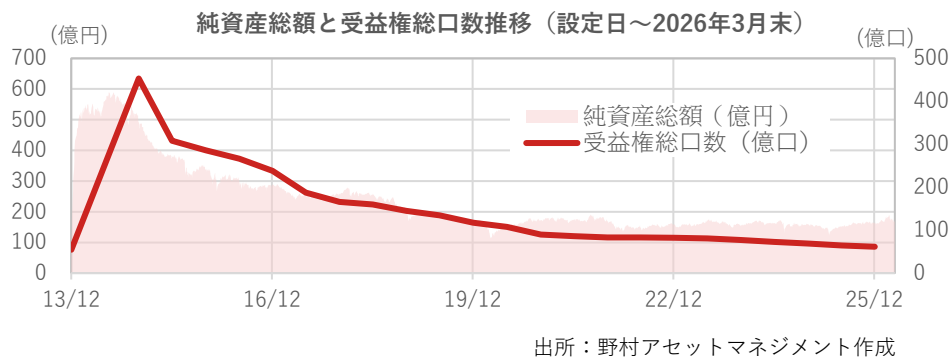
ノムラ THE NIPPON (4 / 4)

(評価基準日: 2026年3月末)

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 (億円)	競合比			当社HP
					3年 下位 (劣後)	5年 下位 (劣後)	10年 下位 (劣後)	
3	ノムラ THE NIPPON	2013年12月 9日	2027年12月13日	164				

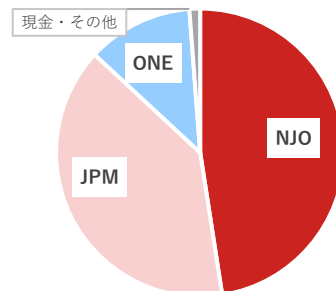
課題認識 (つづき)

- 受益権総口数（ファンドの受益者が保有する口数の合計）の推移は、長期に渡りマイナス傾向が続いています。



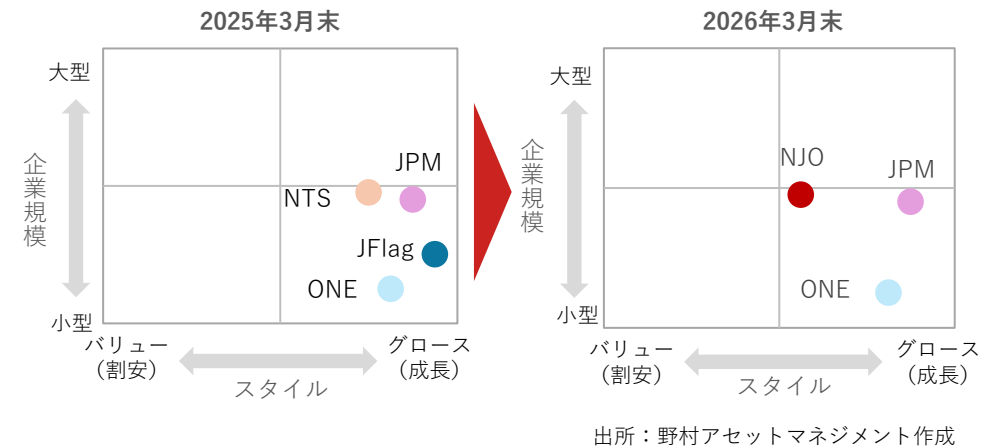
- 2026年3月末の純資産総額が約164億円に対して3ファンドの組み入れとなっています。
- 当ファンドで投資対象ファンドを追加する場合には、一般的なファンド・オブ・ファンズとは異なり、原則としてファンドの新設が必要となります。**純資産総額がさらに減少した場合にはファンドの追加や入れ替えが難しくなることも想定されます。**

組入比率（2026年3月末時点）



改善に向けた取り組み

- 運用スタイルの調整余地を広げ、運用の柔軟性を高める観点から、2025年8月に「ノムラ・ジャパン・オープン マザーファンド（NJO）」を新たに組み入れました。



- 今後も投資ファンドの追加や入れ替えなどを通じて投資環境変化に対する対応力を高め、パフォーマンスの改善に努めてまいります。
- 引き続き、資金動向や運用実績を注視しつつ、残高の推移も踏まえながら対応策の検討を継続してまいります。

野村グローバル・アセット・モデル・ファンド（野村SMA・EW向け）（1／2）

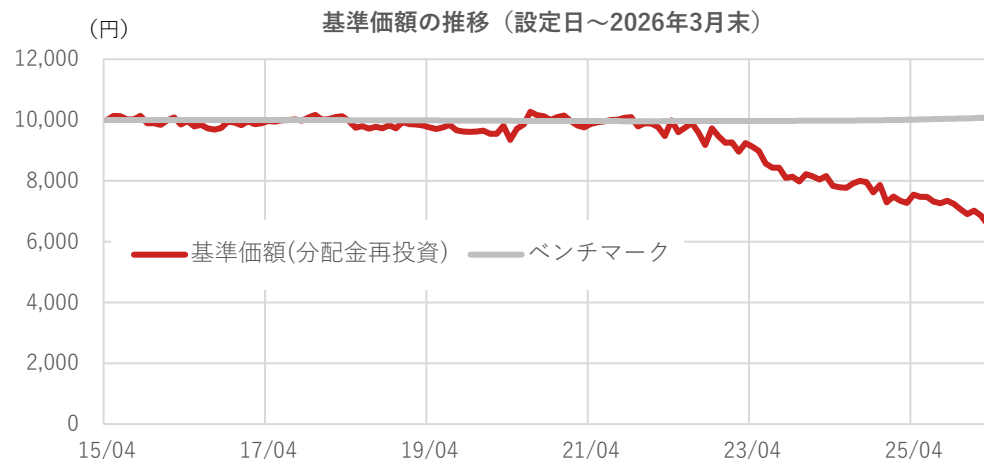
（評価基準日：2026年3月末）

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 （億円）	競合比			当社HP
					3年	5年	10年	
4	野村グローバル・アセット・モデル・ファンド（野村SMA・EW向け）	2015年 4月 1日	無期限	14	－	－	－	

総合評価

- ・計量モデルの継続的な運用改善に努めていますが、期待される運用成果を長期にわたって提供できていないため「要改善」と評価しました。
- ・設定から2026年3月末までのファンドの基準価額騰落率（分配金再投資）は-34.3%、対ベンチマーク（日本円1カ月TIBOR※¹）での超過リターンは-35.1%となり、期間3年、5年、10年のすべてにおいてもベンチマーク対比でマイナスとなりました。

※1 ファンド設定当初から日本円1カ月LIBORをベンチマークとして採用していましたが、2021年12月30日以降は日本円1カ月TIBORへ変更しました。



ファンドの投資リスク、費用等については、上記のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

課題認識

【商品特性】

- ・当ファンドは、市場価格が資産配分モデルと通貨配分モデルで推定される均衡水準※²に収斂する過程で収益獲得を狙うクオンツ運用戦略です。
- ・市場データの精緻な分析により、推定される均衡水準より割安と判断される資産や通貨については買い建てや買予約等によるロング・ポジションを、均衡水準より割高と判断される資産や通貨については売り建てや売予約等によるショート・ポジションを構築します。
- ・株式・債券の先物の買い建てによるロング・ポジションの合計と売り建てによるショート・ポジションの合計との差額（ネット・ポジション）がマザーファンドの純資産総額の0%程度となるようにします。また、外貨についてはネットポジションを円換算した額がマザーファンドの純資産総額の±60%以内となるように、相対的な評価によるポジションを構築します。
- ・株価指数先物、債券先物および為替予約取引を活用することで、ベンチマークを上回る収益の獲得を目指します。
- ・当ファンドに用いる資産配分モデルおよび通貨配分モデルは、システムティカ・インベストメンツ社の開発した運用モデルです。

※2 各モデルを活用し独自に推計した、各投資対象の適正と考えられる価格水準

野村グローバル・アセット・モデル・ファンド（野村SMA・EW向け）（2／2）

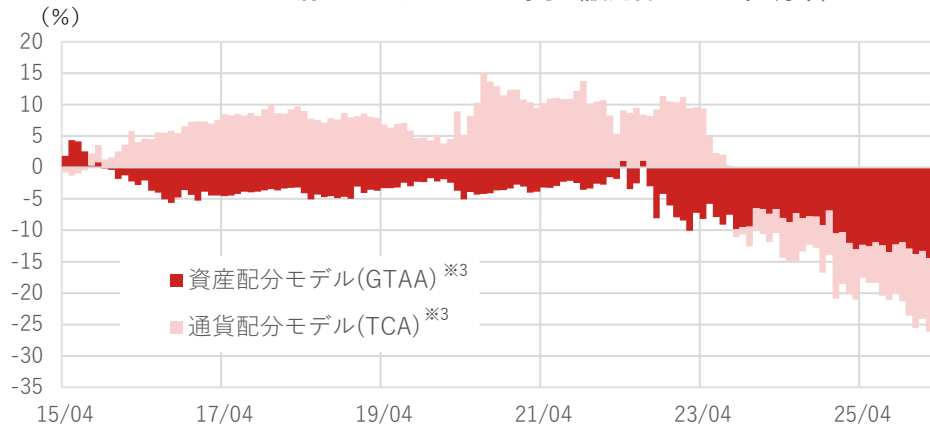
（評価基準日：2026年3月末）

No	ファンド名	設定日	償還日	純資産総額 （億円）	競合比			当社HP
					3年	5年	10年	
4	野村グローバル・アセット・モデル・ファンド（野村SMA・EW向け）	2015年 4月 1日	無期限	14	－	－	－	

課題認識（つづき）

- 2022年以降の市場環境は資産価格が収斂せずに、一方向へ動き続ける傾向（割安な資産・通貨がますます割安に、割高な資産・通貨がますます割高となる状況）が続いた中で、逆張り型のスタイルが機能せず、資産配分戦略、通貨配分戦略ともにマイナスに影響し、ベンチマークを下回る結果となりました。

モデル別のパフォーマンス寄与（設定日～2026年3月末）



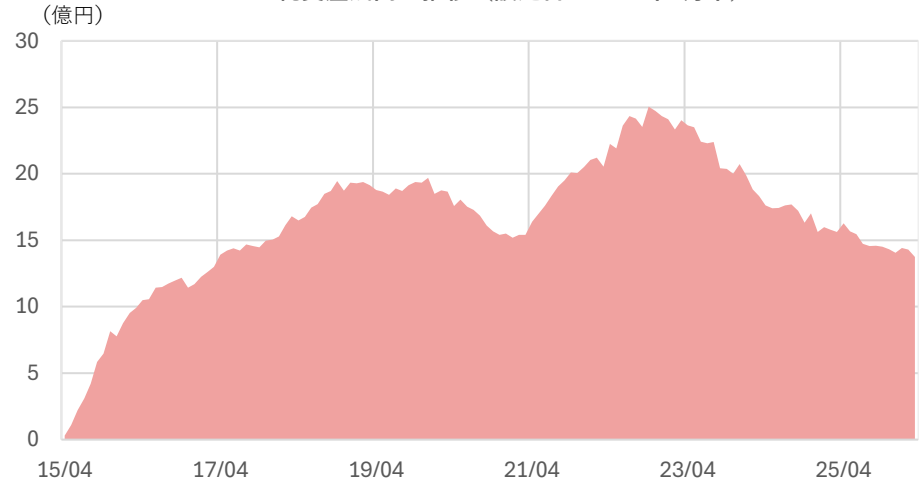
※3 Global Tactical Asset Allocation (GTAA)モデルおよびTactical Currency Allocation (TCA)モデルは、システムティカ・インベストメンツ社の開発した運用モデルです。

出所：野村アセットマネジメント作成

改善に向けた取り組み

- 新しいファクターを考慮するなどこれまでモデル改良を継続的に実施してまいりましたが、ベンチマークを大幅に下回る運用結果となっています。
- 2026年3月末時点の当ファンドの純資産は13.7億円となっています。また、受益権総口数が30億口を継続的に下回っています。
- 引き続き、システムティカ・インベストメンツ社によるモデル改良の取り組み状況を注視しつつ、運用実績や純資産残高の推移も踏まえながらお客様に付加価値の提供ができるかという観点から更なる対応策を検討してまいります。

純資産残高の推移（設定日～2026年3月末）



出所：野村アセットマネジメント作成

Appendix：評価一覧（1／3）

国内株式（スタイル）		
No.	ファンド名	要改善
1	小型ブルーチップオープン	
2	スーパートレンドオープン	
3	ストラテジック・バリュウ・オープン	
4	ジャパン・ストラテジック・バリュウ	
5	ストラテジック・バリュウ・オープン（野村SMA・EW向け）	
6	ストラテジック・バリュウ・オープン（野村SMA向け）	
7	日本好配当株投信	
8	好配当日本株式オープン	
9	日本好配当株投信（野村SMA・EW向け）	
10	日本新興成長企業株ファンド	
11	ノムラ・ジャパン・バリュウ・オープン（野村SMA向け）	
12	野村小型株オープン	
13	野村ジャパンドリム（野村SMA・EW向け）	
14	ミリオン（ジャパンドリムポートフォリオ）	
15	野村日本小型株セレクト（野村SMA・EW向け）	
16	野村日本新成長株ファンド	
17	野村日本真小型株投信	
18	野村日本新安定株オープン	
19	野村リアルグロースオープン	
20	野村リアルグロースオープン（確定拠出年金向け）	
21	リサーチ・アクティブ・オープン	
22	リサーチ・アクティブ・オープン（確定拠出年金向け）	
23	リサーチ・アクティブ・オープン（野村SMA・EW向け）	
24	リサーチ・アクティブ・オープン（野村SMA向け）	

国内株式（一般）		
No.	ファンド名	要改善
25	クスリのアオキホールディングス株式ファンド（確定拠出年金向け）	
26	日本次世代経営者ファンド	
27	ノムラ・ザ・セレクト（野村SMA・EW向け）	
28	ノムラ・ジャパン・オープン	
29	野村国内株式アクティブオープン	
30	ノムラ・ジャパン・オープン（確定拠出年金向け）	
31	野村国内株式アクティブオープン（確定拠出年金向け）	
32	野村DC日本株式アクティブファンド	
33	ノムラ・ジャパン・オープン（野村SMA・EW向け）	
34	ノムラ・ジャパン・オープン（野村SMA向け）	
35	ラップ専用・日本株式アクティブ（セレクト・オポチュニティ）	
36	野村日本株アクティブ・コアファンド（確定拠出年金向け）	
37	野村日本企業価値向上オープン（円投資型）	
38	野村日本企業価値向上オープン（米ドル投資型）	
39	野村日本最高益更新企業ファンド	✓
40	野村日本ブランド株投資（円コース）年2回決算型	
41	野村日本ブランド株投資（円コース）毎月分配型	
42	野村日本ブランド株投資（ブラジルレアルコース）年2回決算型	
43	野村日本ブランド株投資（豪ドルコース）年2回決算型	
44	野村日本ブランド株投資（トルコリラコース）年2回決算型	
45	野村日本ブランド株投資（ブラジルレアルコース）毎月分配型	
46	野村日本ブランド株投資（豪ドルコース）毎月分配型	
47	野村日本ブランド株投資（トルコリラコース）毎月分配型	
48	野村日本ブランド株投資（資源国通貨コース）年2回決算型	
49	野村日本ブランド株投資（資源国通貨コース）毎月分配型	
50	野村日本ブランド株投資（アジア通貨コース）毎月分配型	
51	野村日本ブランド株投資（米ドルコース）年2回決算型	
52	野村日本ブランド株投資（米ドルコース）毎月分配型	
53	野村日本ブランド株投資（アジア通貨コース）年2回決算型	

国内株式（業種・テーマ・その他）、国内不動産投信		
No.	ファンド名	要改善
54	3株未来ファンド	
55	関西応援ファンド	
56	情報エレクトロニクスファンド	

国内株式（業種・テーマ・その他）、国内不動産投信		
No.	ファンド名	要改善
57	脱炭素ジャパン	
58	世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）（確定拠出年金向け）	
59	世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）	
60	ロボ・ジャパン（円投資型）	
61	ロボ・ジャパン（米ドル投資型）	
62	野村日本高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	
63	野村日本高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型	
64	野村日本高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	
65	野村日本高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型	
66	J-REITオープン（年4回決算型）	
67	野村リートファンド	
68	J-REITオープン（資産成長型）	
69	J-REITオープン（毎月決算型）	
70	野村J-REITファンド（確定拠出年金向け）	
71	野村J-REITファンド（野村SMA向け）	
72	ラップ専用・J-REITアクティブ	
73	野村日本不動産投信	

海外株式・海外不動産投信（アジア・オセアニア）		
No.	ファンド名	要改善
74	アジア好配当株投信	
75	ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・印度・フォカス）	
76	ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・インドネシア・フォカス）	
77	野村インド株投資	

海外株式・海外不動産投信（グローバル・その他）		
No.	ファンド名	要改善
78	グローバル・ハイインカム・ストック・ファンド	
79	グローバル・バリュウ・オープン	
80	グローバル・バリュウ・オープン（確定拠出年金向け）	
81	ラップ専用・世界株式アクティブ（グローバル・バリュウ）	
82	世界好配当株投信	
83	世界好配当株投信（毎月分配型）	
84	野村世界好配当株投信（確定拠出年金向け）	
85	世界好配当株投信（野村SMA・EW向け）	
86	世界好配当株投信（野村SMA向け）	
87	野村未来トレンド発見ファンドBコース（為替ヘッジなし）	
88	野村未来トレンド発見ファンドAコース（為替ヘッジあり）	
89	野村未来トレンド発見ファンドDコース（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	
90	野村未来トレンド発見ファンドCコース（為替ヘッジあり）予想分配金提示型	
91	野村DC未来トレンド発見ファンド	
92	野村未来トレンド発見ファンドBコース（野村SMA・EW向け）	
93	野村未来トレンド発見ファンドAコース（野村SMA・EW向け）	
94	ラップ専用・世界株式アクティブ（グローバル・マルチテーマ）	
95	東欧投資ファンド	
96	野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース	
97	野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース	
98	野村サステナブルセレクト（世界株式型 Bコース）	
99	野村サステナブルセレクト（世界株式型 Aコース）	
100	野村世界業種別投資シリーズ（世界金融株投資）	
101	野村世界業種別投資シリーズ（世界資源株投資）	
102	野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）	
103	野村世界業種別投資シリーズ（世界ヘルスケア株投資）	
104	米国NASDAQオープンBコース	
105	米国NASDAQオープンAコース	

国内債券		
No.	ファンド名	要改善
106	ノムラ日本債券オープン（確定拠出年金向け）	
107	ノムラ日本債券オープン（野村SMA向け）	
108	ノムラ日本債券オープン（野村SMA・EW向け）	
109	野村日本債券ファンド（確定拠出年金向け）	

国内債券		
No.	ファンド名	要改善
110	財形給付金ファンド	
111	第1回 公社債投資信託	
112	第2回 公社債投資信託	
113	第3回 公社債投資信託	
114	第4回 公社債投資信託	
115	第5回 公社債投資信託	
116	第6回 公社債投資信託	
117	第7回 公社債投資信託	
118	第8回 公社債投資信託	
119	第9回 公社債投資信託	
120	第10回 公社債投資信託	
121	第11回 公社債投資信託	
122	第12回 公社債投資信託	
123	ラップ専用・日本債券アクティブ（クレジット戦略型）	

海外債券		
No.	ファンド名	要改善
124	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	
125	野村インド債券ファンド（年2回決算型）	
126	（トヨタ モーター クレジット）トヨタグループ世界債券ファンド（年2回分配型）	
127	（トヨタ モーター クレジット）トヨタグループ世界債券ファンド（毎月分配型）	
128	ラップ専用・外国債券アクティブ	
129	グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド Bコース	
130	グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド Aコース	
131	ノムラ・ボンド・インカム・オープン	
132	野村外国債券アクティブファンド（確定拠出年金向け）	
133	野村外国債券アクティブファンドBコース（野村SMA向け）	
134	野村外国債券アクティブファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
135	野村外国債券アクティブファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
136	野村外国債券アクティブファンドAコース（野村SMA向け）	
137	ラップ専用・外国国債アクティブ（為替ヘッジあり）	
138	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）	
139	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA・EW向け）	
140	野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	✓
141	野村ワールドボンド・ファンド	

マルチアセット・その他		
No.	ファンド名	要改善
142	世界分散投資戦略ファンド	
143	野村DC世界分散投資戦略ファンド	
144	野村DC運用戦略ファンド	
145	ネクストコア	
146	野村DC運用戦略ファンド（マイルド）	
147	野村世界 6 資産分散投信（配分変更コース）	
148	野村ターゲットインカムファンド（年3%目標分配型）	
149	野村ターゲットインカムファンド（資産成長型）	
150	野村ターゲットインカムファンド（年6%目標払出型）	
151	野村ワールドスターオープン	
152	野村サステナブルセレクト（世界バランス型 Bコース）	
153	野村サステナブルセレクト（世界バランス型 Aコース）	
154	ノムラスマートプレミアム（野村SMA・EW向け）	
155	財形株投（年金・住宅財形30）	
156	財形株投（一般財形30）	
157	財形株投（一般財形50）	
158	ミリオן（バランスポートフォリオ）	

インデックス（プロセス）		
No.	ファンド名	要改善
159	野村通貨選択日本株投信（米ドルコース）年2回決算型	
160	野村通貨選択日本株投信（メキシコペソコース）年2回決算型	
161	野村通貨選択日本株投信（米ドルコース）毎月分配型	
162	野村通貨選択日本株投信（メキシコペソコース）毎月分配型	

インデックス（プロセス）		
No.	ファンド名	要改善
163	野村通貨選択日本株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型	
164	野村通貨選択日本株投信（豪ドルコース）年2回決算型	
165	野村通貨選択日本株投信（ブラジルレアルコース）年2回決算型	
166	野村通貨選択日本株投信（豪ドルコース）毎月分配型	
167	野村日本国債部分ラダーファンド（野村SMA・EW向け）	
168	野村外国債券（含む新興国）インデックスBコース（野村投資－任口座向け）	
169	野村外国債券（含む新興国）インデックスAコース（野村投資－任口座向け）	
170	野村米国国債部分ラダーファンド Bコース（野村SMA向け）	
171	野村米国国債部分ラダーファンド Aコース（野村SMA向け）	
172	野村米国国債部分ラダーファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
173	野村米国国債部分ラダーファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	

インデックス（マルチアセット）		
No.	ファンド名	要改善
174	野村資産設計ファンド2015	
175	野村資産設計ファンド2020	
176	野村資産設計ファンド2025	
177	野村資産設計ファンド2030	
178	野村資産設計ファンド（DC・つみたてN I S A）2030	
179	野村資産設計ファンド2035	
180	野村資産設計ファンド2040	
181	野村資産設計ファンド（DC・つみたてN I S A）2040	
182	野村資産設計ファンド2045	
183	野村資産設計ファンド2050	
184	野村資産設計ファンド（DC・つみたてN I S A）2050	
185	野村資産設計ファンド2060	
186	野村資産設計ファンド（DC・つみたてN I S A）2060	
187	野村ターゲットデットファンド2016 2026-2028年目標型	
188	野村ターゲットデットファンド2016 2029-2031年目標型	
189	野村ターゲットデットファンド2016 2032-2034年目標型	
190	野村ターゲットデットファンド2016 2035-2037年目標型	
191	マイターゲット2030（確定拠出年金向け）	
192	マイターゲット2035（確定拠出年金向け）	
193	マイターゲット2040（確定拠出年金向け）	
194	マイターゲット2045（確定拠出年金向け）	
195	マイターゲット2050（確定拠出年金向け）	
196	マイターゲット2055（確定拠出年金向け）	
197	マイターゲット2060（確定拠出年金向け）	
198	マイターゲット2065（確定拠出年金向け）	
199	マイターゲット2070（確定拠出年金向け）	
200	国内債券・株式バランスファンド（確定拠出年金向け）	
201	世界6資産分散ファンド	
202	多資産分散投資ファンド（バランス10）（確定拠出年金向け）	
203	野村6資産均等バランス	
204	野村DCバランスファンド（年金運用戦略タイプ）	
205	野村インデックスファンド・内外7資産バランス・為替ヘッジ型	
206	野村インデックスファンド・海外5資産バランス	
207	野村世界6資産分散投信（安定コース）	
208	野村世界6資産分散投信（D C）安定コース	
209	野村世界6資産分散投信（成長コース）	
210	野村世界6資産分散投信（D C）成長コース	
211	野村世界6資産分散投信（分配コース）	
212	野村世界6資産分散投信（D C）インカムコース	
213	バランスセレクト30	
214	バランスセレクト30（確定拠出年金向け）	
215	バランスセレクト50	
216	バランスセレクト50（確定拠出年金向け）	
217	バランスセレクト70	
218	バランスセレクト70（確定拠出年金向け）	
219	マイバランス30（確定拠出年金向け）	
220	マイバランスDC30	
221	マイバランス50（確定拠出年金向け）	

Appendix：評価一覧（2／3）

インデックス（マルチアセット）

No.	ファンド名	要改善
222	マイバランスDC50	
223	マイバランス70（確定拠出年金向け）	
224	マイバランスDC70	
225	みらいバランス・株式10（富士通企業年金基金DC向け）	

インデックス（株式）

No.	ファンド名	要改善
226	トピックス・インデックス・オープン	
227	野村インデックスファンド・TOPIX	
228	野村日本株インデックス（野村投資－任一口座向け）	
229	野村TOPIXインデックス（野村SMA・EW向け）	
230	トピックス・インデックス・オープン（確定拠出年金向け）	
231	野村国内株式インデックスファンド・TOPIX（確定拠出年金向け）	
232	野村DC国内株式インデックスファンド・TOPIX	
233	はじめてのNISA・日本株インデックス（TOPIX）	
234	京都・温賀インデックス ファンド	
235	橋立ビ株式ファンド	
236	株式インデックス Z25	
237	ミリオン（インデックスポートフォリオ）	
238	野村インデックスファンド・日経225	
239	野村日経225インデックス（野村SMA・EW向け）	
240	野村つみたて日本株投信	
241	野村日経225インデックスファンド（確定拠出年金向け）	
242	はじめてのNISA・日本株式インデックス（日経225）	
243	JPX日経400ファンド	
244	野村インデックスファンド・JPX日経400	
245	野村DC・JPX日経400ファンド	
246	大塚グループ株式ファンド（確定拠出年金向け）<大塚ホールディングス株式、アース製薬株式>	
247	野村インデックスファンド・日経半導体株	
248	野村外国株式インデックスファンド	
249	野村インデックスファンド・外国株式	
250	野村インデックスファンド・外国株式・為替ヘッジ型	
251	野村外国株インデックス Bコース（野村投資－任一口座向け）	
252	野村外国株インデックス Bコース（野村SMA・EW向け）	
253	野村外国株インデックス Aコース（野村SMA・EW向け）	
254	野村外国株インデックス Aコース（野村投資－任一口座向け）	
255	野村外国株式インデックスファンド・MSCI-KOKUSAI（確定拠出年金向け）	
256	野村DC外国株式インデックスファンド・MSCI-KOKUSAI	
257	野村スリーゼロ先進国株式投信	
258	野村インデックスファンド・新興国株式	
259	野村新興国株式インデックスファンド（確定拠出年金向け）	
260	はじめてのNISA・新興国株式インデックス	
261	野村インデックスファンド・先進国ESG株式	
262	野村世界ESG株式インデックスファンド（確定拠出年金向け）	
263	野村外国株（含む新興国）インデックス Bコース（野村投資－任一口座向け）	
264	野村外国株（含む新興国）インデックス Aコース（野村投資－任一口座向け）	
265	野村つみたて外国株投信	
266	野村インデックスファンド・米国株式配当貴族	
267	野村インデックスファンド・米国株式配当貴族・為替ヘッジ型	
268	米国株式配当貴族（年4回決算型）	
269	米国株式配当貴族・為替ヘッジなし型（投資－任サービス向け）	
270	野村DC全世界株式（オール・カンントリー）インデックスファンド	
271	はじめてのNISA・全世界株式インデックス（オール・カンントリー）	
272	野村米国株式&SP500インデックスファンド（確定拠出年金向け）	
273	はじめてのNISA・米国株式インデックス（S&P500）	

インデックス（債券）

No.	ファンド名	要改善
274	野村インデックスファンド・国内債券	
275	野村日本債券インデックス（野村投資－任一口座向け）	
276	野村日本債券インデックス（野村SMA向け）	
277	野村日本債券インデックス（野村SMA・EW向け）	

インデックス（債券）

No.	ファンド名	要改善
278	野村国内債券インデックスファンド・NOMURA-BPI総合（確定拠出年金向け）	
279	野村DC国内債券インデックスファンド・NOMURA-BPI総合	
280	野村国内債券インデックスファンド	
281	野村日本債券インデックスファンド	
282	野村日本国債インデックスファンド（確定拠出年金向け）	
283	野村インデックスファンド・外国債券	
284	野村インデックスファンド・外国債券・為替ヘッジ型	
285	野村外国債券バッシブファンド（確定拠出年金向け）	
286	野村外国債券インデックス Bコース（野村投資－任一口座向け）	
287	野村外国債券インデックス（野村SMA向け）	
288	野村外国債券インデックス Bコース（野村SMA・EW向け）	
289	野村外国債券インデックス Aコース（野村SMA・EW向け）	
290	野村外国債券インデックス Aコース（野村投資－任一口座向け）	
291	野村外国債券インデックスファンド（確定拠出年金向け）	
292	野村DC外国債券インデックスファンド	
293	野村外国債券インデックスファンド	
294	野村インデックスファンド・新興国債券・為替ヘッジ型	
295	野村新興国債券インデックスファンド（確定拠出年金向け）	
296	野村インデックスファンド・新興国債券	
297	野村DC新興国債券（現地通貨建て）インデックスファンド	
298	野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券	
299	野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券・為替ヘッジ型	
300	米国投資連格社債1-10年インデックスファンド（為替ヘッジあり）年2回決算型	
301	米国投資連格社債1-10年インデックスファンド（為替ヘッジあり）毎月分配型	

インデックス（不動産投信）

No.	ファンド名	要改善
302	野村インデックスファンド・J－REIT	
303	野村J－REITインデックス（野村SMA・EW向け）	
304	野村インデックスファンド・外国REIT	
305	野村インデックスファンド・外国REIT・為替ヘッジ型	
306	野村世界REITインデックス Bコース（野村投資－任一口座向け）	
307	野村世界REITインデックス（野村SMA・EW向け）	
308	野村世界REITインデックス Aコース（野村投資－任一口座向け）	
309	野村世界REITインデックスファンド（確定拠出年金向け）	

インデックス（プルベア）

No.	ファンド名	要改善
310	スーパーボンドベアオープン4	

外部委託（株式・不動産投信）

No.	ファンド名	要改善
311	ノムラファンドマスターズ日本小型株	
312	ノムラ THE NIPPON	✓
313	マイストリー・日本株100	
314	ノムラファンドマスターズ日本株	
315	マイストリー・日本株100（確定拠出年金向け）	
316	野村アバンティス新興国株ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
317	野村アバンティス新興国株ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
318	野村新興国消費関連株投信	
319	ノムラファンドマスターズ新興国株 Bコース	
320	ノムラ新興国株ファンズ Bコース（野村SMA・EW向け）	
321	ノムラファンドマスターズ新興国株 Aコース	
322	ノムラ新興国株ファンズ Bコース（野村SMA向け）	
323	ノムラ新興国株ファンズ Aコース（野村SMA向け）	
324	ノムラ新興国株ファンズ Aコース（野村SMA・EW向け）	
325	ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド Bコース	
326	ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド Aコース	
327	ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
328	ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
329	グローバル・ストック Bコース	
330	グローバル・ストック Dコース	

外部委託（株式・不動産投信）

No.	ファンド名	要改善
331	グローバル・ストック Aコース	
332	グローバル・ストック Cコース	
333	野村ブラックロック世界優良企業厳選ファンド Bコース	
334	野村ブラックロック世界優良企業厳選ファンド Aコース	
335	野村JPMグローバルセレクト株式 Bコース（野村SMA・EW向け）	
336	野村JPMグローバルセレクト株式 Aコース（野村SMA・EW向け）	
337	野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Bコース（野村SMA・EW向け）	
338	野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Aコース（野村SMA・EW向け）	
339	野村アバンティス世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
340	野村アバンティス世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
341	野村グローバル・タオリティ・グロース Bコース（野村SMA・EW向け）	
342	野村グローバル・タオリティ・グロース Aコース（野村SMA・EW向け）	
343	野村ハリス外国株バリューストラテジーファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
344	野村ハリス外国株バリューストラテジーファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
345	野村フランチイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
346	野村フランチイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
347	ハビビライフファンド・株100	
348	マイストリー・株100	
349	マイストリー・株100（確定拠出年金向け）	
350	野村ユーロ・トップ・カンパニー Bコース	
351	野村ユーロ・トップ・カンパニー Aコース	
352	野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	
353	野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	
354	野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型	
355	野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型	
356	野村高配当インフラ関連株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	
357	野村高配当インフラ関連株プレミアム（円コース）年2回決算型	
358	野村高配当インフラ関連株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	
359	野村高配当インフラ関連株プレミアム（円コース）毎月分配型	
360	世界フード関連株式オープン	
361	野村ACI先進医療インバクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型	
362	野村ACI先進医療インバクト投資 Dコース 為替ヘッジなし 予想分配金提示型	
363	野村ACI先進医療インバクト投資 Aコース 為替ヘッジあり 資産成長型	
364	野村ACI先進医療インバクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型	
365	野村アクア投資 Bコース	
366	野村アクア投資 Aコース	
367	野村環境リーダーズ戦略ファンド Bコース	
368	野村環境リーダーズ戦略ファンド Aコース	
369	野村クラウド関連株式投信 Bコース（為替ヘッジなし）	
370	野村クラウド関連株式投信 Aコース（為替ヘッジあり）	
371	野村ドイチエ・高配当インフラ関連株投信（為替ヘッジなし）年2回決算型	
372	野村ドイチエ・高配当インフラ関連株投信（為替ヘッジなし）毎月分配型	
373	野村ドイチエ・高配当インフラ関連株投信（為替ヘッジあり）年2回決算型	
374	野村ドイチエ・高配当インフラ関連株投信（為替ヘッジあり）毎月分配型	
375	野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース	
376	野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース	
377	野村ブラックロック循環経済関連株投信 Bコース	
378	野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース	
379	野村マッコーリ・プライベート・インフラ・ファンド	
380	モルガン・スタンレーグローバル・サステイニ戦略ファンド（為替ヘッジなし）	
381	モルガン・スタンレーグローバル・サステイニ戦略ファンド（為替ヘッジあり）	
382	ワールド・ウォーター・ファンド Bコース	
383	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース	
384	ワールド・ゲムテックロジー オープン Bコース	
385	ワールド・ゲムテックロジー オープン Aコース	
386	ノムラ THE USA Bコース	
387	ノムラ THE USA Aコース	
388	野村アバンティス米国小型株ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
389	野村アバンティス米国小型株ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
390	野村米国ブランド株投資（為替ヘッジあり）年2回決算型	
391	野村米国ブランド株投資（為替ヘッジあり）毎月分配型	
392	野村米国ブランド株投資（為替ヘッジなし）年2回決算型	

外部委託（株式・不動産投信）

No.	ファンド名	要改善
393	野村米国ブランド株投資（為替ヘッジなし）毎月分配型	
394	米国バリューストラテジー・ファンド Bコース	
395	米国バリューストラテジー・ファンド Aコース	
396	米国バリューストラテジー・ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
397	米国バリューストラテジー・ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
398	ラップ専用・グローバルREITアクティブ	
399	グローバルREITオープン	
400	グローバルREITオープン（資産成長型）	
401	野村世界REITファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
402	野村世界REITファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
403	野村世界REITファンドBコース（野村SMA向け）	
404	野村世界REITファンドAコース（野村SMA向け）	
405	野村世界不動産投信	
406	ノムラ日米REITファンド	
407	野村ブラックロック世界REITファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
408	野村ブラックロック世界REITファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
409	野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	
410	野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	
411	野村グローバルREITプレミアム（円コース）年2回決算型	
412	野村グローバルREITプレミアム（円コース）毎月分配型	

外部委託（債券）

No.	ファンド名	要改善
413	野村豪州債券ファンド（年2回決算型）	
414	野村豪州債券ファンド（毎月分配型）	
415	野村豪州債券ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
416	野村豪州債券ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
417	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（アジア通貨コース）毎月分配型	
418	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（資源国通貨コース）毎月分配型	
419	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（アジア通貨コース）年2回決算型	
420	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（円コース）年2回決算型	
421	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（資源国通貨コース）年2回決算型	
422	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（円コース）毎月分配型	
423	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（米ドルコース）年2回決算型	
424	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（米ドルコース）毎月分配型	
425	野村新興国債券投信Aコース（毎月分配型）	
426	野村新興国債券投信Bコース（毎月分配型）	
427	ノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA・EW向け）	
428	ノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA向け）	
429	野村グローバル・クレジット・ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
430	野村グローバル・クレジット・ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
431	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	
432	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（資源国通貨コース）年2回決算型	
433	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（資源国通貨コース）毎月分配型	
434	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（アジア通貨コース）毎月分配型	
435	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（アジア通貨コース）年2回決算型	
436	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型	
437	野村テンブルトン・トータル・リターンBコース	
438	野村テンブルトン・トータル・リターンDコース	
439	野村テンブルトン・トータル・リターンAコース	
440	野村テンブルトン・トータル・リターンCコース	
441	ノムラファンドマスターズ世界債券Bコース	
442	ノムラファンドマスターズ世界債券Aコース	
443	野村為替ヘッジ付き世界債券ファンド（野村SMA・EW向け）	
444	欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円コース）	
445	欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（豪ドルコース）	
446	欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（欧州通貨コース）	
447	ノルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	
448	ノルディック社債ファンド 為替ヘッジなし	
449	野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Aコース	
450	野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Bコース	
451	野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Cコース	

Appendix：評価一覧（3／3）

外部委託（債券）		
No.	ファンド名	要改善
452	野村ウェスタン・世界債券戦略ファンド Dコース	
453	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	
454	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース	
455	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Dコース	
456	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Cコース	
457	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド 為替ナビ Eコース	
458	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド 為替ナビ Fコース	
459	野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド（為替ヘッジあり）	
460	野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド（為替ヘッジなし）	
461	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	
462	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	
463	野村アジアハイ・イールド債券投資（通貨セレクトコース）毎月分配型	
464	野村アジアハイ・イールド債券投資（通貨セレクトコース）年2回決算型	
465	野村アジアハイ・イールド債券投資（円コース）年2回決算型	
466	野村アジアハイ・イールド債券投資（アジア通貨セレクトコース）年2回決算型	
467	野村アジアハイ・イールド債券投資（アジア通貨セレクトコース）毎月分配型	
468	野村アジアハイ・イールド債券投資（円コース）毎月分配型	
469	野村アジアハイ・イールド債券投資（米ドルコース）年2回決算型	
470	野村アジアハイ・イールド債券投資（米ドルコース）毎月分配型	
471	野村米国好利回り社債投資 Bコース	
472	野村米国好利回り社債投資 Aコース	
473	野村米国好利回り社債投資 Dコース	
474	野村米国好利回り社債投資 Cコース	
475	高利回り社債オープン	
476	高利回り社債オープン・為替ヘッジ	
477	野村米国ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）	
478	野村米国ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）為替ヘッジあり	
479	野村米国ハイ・イールド・ファンド（年1回決算型）	
480	高利回り社債オープン（年1回決算型）	
481	高利回り社債オープン・為替ヘッジ（年1回決算型）	
482	野村米国ハイ・イールド・ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり	
483	ラップ専用・米国ハイ・イールド債券アクティブ	
484	野村米国ハイ・イールド債券投資（米ドルコース）年2回決算型	
485	野村米国ハイ・イールド債券投資（円コース）年2回決算型	
486	野村米国ハイ・イールド債券投資（米ドルコース）毎月分配型	
487	野村米国ハイ・イールド債券投資（円コース）毎月分配型	
488	野村米国ハイ・イールド債券投資（ブラジルレアルコース）年2回決算型	
489	野村米国ハイ・イールド債券投資（豪ドルコース）年2回決算型	
490	野村米国ハイ・イールド債券投資（ブラジルレアルコース）毎月分配型	
491	野村米国ハイ・イールド債券投資（豪ドルコース）毎月分配型	
492	野村米国ハイ・イールド債券投資（トルコリラコース）毎月分配型	
493	野村米国ハイ・イールド債券投資（通貨セレクトコース）年2回決算型	
494	野村米国ハイ・イールド債券投資（通貨セレクトコース）毎月分配型	
495	野村米国ハイ・イールド債券投資（メキシコペソコース）毎月分配型	
496	野村米国ハイ・イールド債券投資（トルコリラコース）年2回決算型	
497	野村米国ハイ・イールド債券投資（メキシコペソコース）年2回決算型	
498	ハイ・イールド ボンド オープンBコース（野村SMA向け）	
499	ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）	
500	ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）	
501	ハイ・イールド ボンド オープンAコース（野村SMA向け）	
502	ブランドウィーン米国債券戦略ファンド（為替ヘッジなし）	
503	ブランドウィーン米国債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）	

外部委託（マルチアセット）		
No.	ファンド名	要改善
504	インデックス・ブレンド（タイプⅠ）	
505	インデックス・ブレンド（タイプⅡ）	
506	インデックス・ブレンド（タイプⅢ）	
507	インデックス・ブレンド（タイプⅣ）	
508	インデックス・ブレンド（タイプⅤ）	
509	ゴールベースラップ・ファンド（レベル1）	
510	ゴールベースラップ・ファンド（レベル2）	

外部委託（マルチアセット）		
No.	ファンド名	要改善
511	ゴールベースラップ・ファンド（レベル3）	
512	ゴールベースラップ・ファンド（レベル4）	
513	ゴールベースラップ・ファンド（レベル5）	
514	野村カルミニャック・ファンド Bコース	
515	野村カルミニャック・ファンド Aコース	
516	のむラップ・ファンド（積極型）	
517	のむラップ・ファンド（普通型）	
518	のむラップ・ファンド（普通型）年6%目標分配金受取型	
519	のむラップ・ファンド（普通型）年3%目標分配金受取型	
520	のむラップ・ファンド（保守型）	
521	のむラップ・ファンド（やや積極型）	
522	のむラップ・ファンド（やや保守型）	
523	マイ・ロード	
524	マイライフ・エール（資産成長型）	
525	マイライフ・エール（年6%目標払出型）	
526	マイライフ・エール（年2%目標払出型）	
527	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジなし）年2回決算型	
528	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジあり）年2回決算型	
529	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジなし）隔月分配型	
530	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジあり）隔月分配型	
531	世界三資産バランスファンド	
532	ノムラ・オールインワン・ファンド	
533	ノムラ・グローバル・オールスターズ	
534	ハッピーライフファンド・株50	
535	マイストーリー・株50	
536	マイストーリー・株50（確定拠出年金向け）	
537	マイストーリー・株25（確定拠出年金向け）	
538	ハッピーライフファンド・株25	
539	マイストーリー・株25	
540	マイストーリー・株75	
541	マイストーリー・株75（確定拠出年金向け）	
542	マイストーリー分配型（年6回）Bコース	
543	マイストーリー分配型（年6回）Aコース	

外部委託（その他）		
No.	ファンド名	要改善
544	ダブル・ブレイン	
545	ダブル・ブレイン（ブル）	
546	ダブル・ブレイン（マイルド）	
547	ダブル・ブレイン・コア（スタンダード）	
548	ダブル・ブレイン・コア（ブル）	
549	ダブル・ブレイン・コア（マイルド）	
550	野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Bコース	
551	野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース	
552	野村PIMCO・トレンド戦略ファンド（米ドル売り円買い）（野村SMA・EW向け）	
553	野村グローバル・アセット・モデル・ファンド（野村SMA・EW向け）	✓
554	野村ブルーベイ・トータルリターンファンド（野村SMA・EW向け）	

当資料で使用した指数および指数の著作権について

- **東証株価指数（TOPIX）（配当込み）**

指数の著作権について：配当込みTOPIX（「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」といいます。）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

- **東証グロース市場250指数（配当込み）**

指数の著作権について：配当込み東証グロース市場250指数（「東証グロース市場250指数（配当込み）」といいます。）の指数値及び東証グロース市場250指数（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証グロース市場250指数（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証グロース市場250指数（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証グロース市場250指数（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

- **Russell/Nomura Total Market Growth インデックス、Russell/Nomura Total Market Value インデックス**

指数の著作権について：Russell/Nomura Total Market Growth インデックス及びRussell/Nomura Total Market Value インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーは、これらのインデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、これらのインデックスを用いて運用される当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

- **FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ、円ベース）**

指数の著作権について：FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

- **NOMURA-BPI国債**

指数の著作権について：NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

Fundmarkレーティングについて

Fundmarkレーティングはあくまで過去のデータを分析したものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。Fundmarkレーティングは、投資判断・資産運用の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘等を目的としたものではありません。Fundmarkレーティングのいかなる部分も、その著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社野村総合研究所又はその許諾者に帰属しており、いかなる目的であれ、電子的、機械的、光学的、その他のいかなる手段によっても、株式会社野村総合研究所の書面による同意なしに、無断で複製、引用、転載又は転送等を行うことを禁止いたします。株式会社野村総合研究所は、Fundmarkレーティングの正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等につき、いかなる保証も行いません。また、Fundmarkレーティングの利用に起因する利用者およびその他第三者のいかなる損害についても、株式会社野村総合研究所は一切の責任を負いません。

Morningstar Ratingsについて

©2026 Morningstar. All Rights Reserved. ここに含まれる情報、データ、分析及び意見は、(1) Morningstar、その関連会社及び／またはコンテンツ提供者の機密情報且つ専有情報を含むものであり、(2)複製または再配布してはならず、(3)Morningstarによる投資助言を構成するものではなく、(4)専ら情報提供を目的として提供されるもので、そのため、証券の購入や売却を提案するものではなく、(5)完全性、正確性又は適時性を保証するものではありません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。Morningstar、その関連会社及び／またはコンテンツ提供者のいずれも、この情報、データ、分析あるいは意見又はこれらの利用もしくは配布から生ずる、又はこれらに関連するいかなる取引の決定、損害またはその他の損失について責任を負いません。

※2025年3月末および2026年3月末時点の総合的なMorningstarレーティング

※各ファンドの総合的なMorningstarレーティングは、3年、5年、および10年のMorningstarレーティングの加重平均から導き出されます。Morningstarレーティングは過去の運用実績に基づいた評価であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料について

- 当資料は、ファンド・レビューの内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 投資勧誘を目的とした資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。
- 当資料の内容は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆ないし保証するものではありません。

お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

TEL(03)6387-5000(大代表)

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 373 号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会